RICOH

imagio

MP 9002/7502/6002シリーズ

使用説明書
〈プリンター〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 印刷するための準備

2. プリンタードライバーの設定画面を開く

3. 印刷する

4. 製本や仕分けに便利な機能

5. 蓄積文書を印刷する

6. 外部メディアを接続して印刷する

7. プリンタードライバーを使用しないで印刷する

8. プリンター初期設定

1. 印刷するための準備

本機を使用する前に設定しておくと便利な機能や、本機の印刷範囲について説明します。

優先する用紙設定を選択する

本機が印刷データを受信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかトレイごとに指定できます。

［ドライバー/コマンド優先］を選択したときは、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。

［機器側設定優先］を選択したときは、本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

1. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

CJR003

2. ［プリンター初期設定］を押します。
3. ［システム設定］タブを押します。
4. ［▼次へ］を押します。
5. ［トレイ設定選択］を押します。
6. 設定する給紙トレイを選択します。
7. 優先させる設定を選択します。

   プリンタードライバーまたはコマンドからの設定を優先させるときは［ドライバー/コマンド優先］を選択します。

   本機の操作部での設定を優先するときは、［機器側設定優先］を選択します。
8. ［設定］を押します。
9. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

補足

- 設定項目については、P.116「システム設定」を参照してください。

文書の放置を防止する

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の放置を防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.75「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。

CJR003

2. [プリンター初期設定] を押します。
3. [システム設定] タブを押します。
4. [▼次へ] を押します。
5. [印刷をともなうジョブの制限] を押します。
6. [自動蓄積] または [印刷取消] を選択します。
7. [設定] を押します。
8. [初期設定/カウンター] キーを押します。

補足

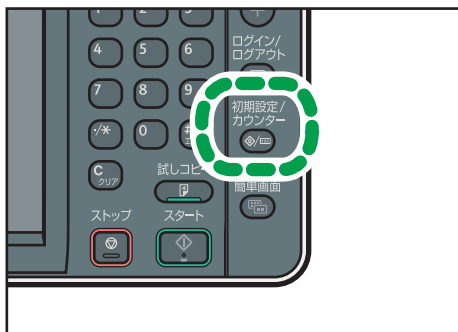
- 設定項目については、P.116「システム設定」を参照してください。
- [自動蓄積] を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
    - プリンタードライバーで [通常印刷] を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。保留印刷文書の印刷については、P.83「操作部を使用して保留印刷文書を印刷する」を参照してください。
    - プリンタードライバーで [試し印刷] を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。試し印刷文書の印刷については、P.76「2 部目以降を印刷する」を参照してください。

- プリンタードライバーで［保存して印刷］を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。保存文書の印刷については、P.87「操作部を使用して保存文書を印刷する」を参照してください。

エラー発生時の動作を指定する

用紙設定が一致しないときに強制印刷する

プリンタードライバーから指示した給紙トレイに、条件の合う用紙サイズや用紙種類がセットされていないとき、用紙がセットされている給紙トレイから強制印刷し、本機をエラーから開放します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。

CJR003

2. [プリンター初期設定] を押します。
3. [システム設定] タブを押します。
4. [エラースキップ] を押します。
5. 強制印刷または印刷を中止するまでの時間を指定します。
6. [設定] を押します。
7. [初期設定/カウンター] キーを押します。

補足

- 設定項目については、P.116「システム設定」を参照してください。

エラーで印刷が中止された文書を蓄積する

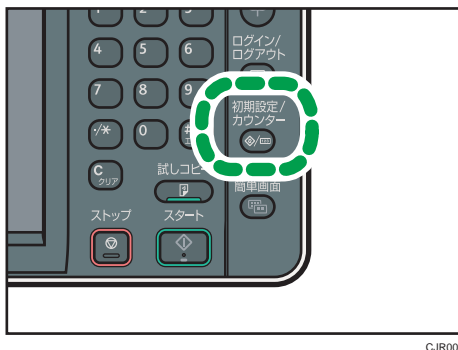
エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.75「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.89「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

重要

1

- 以下のような印刷設定に関するエラーで印刷が中止されたときに、文書が自動的に蓄積されます。
    - 印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がなくなったとき
    - 印刷時に指定した給紙トレイが本機にセットされていないとき
    - プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類が本機のどの給紙トレイとも一致しないとき
    - ステープルの針がなくなったとき
    - ステープルくずが満杯になったとき
    - パンチくずが満杯になったとき
- 総ページ数が 3,000 ページまでの文書を 200 件まで自動で蓄積できます。

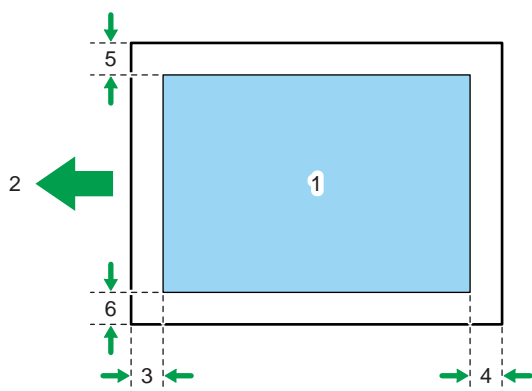
1. [初期設定/カウンター]キーを押します。

2. [プリンター初期設定]を押します。
3. [システム設定]タブを押します。
4. [エラージョブ蓄積・追い越し]を押します。
5. [する]を押します。
6. 必要に応じて、本機がエラーを検知するページ数を指定します。
7. [設定]を押します。
8. [初期設定/カウンター]キーを押します。

補足

- 設定項目については、P.116「システム設定」を参照してください。
- 指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。

- プリンタードライバーで［通常印刷］を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。保留印刷文書の印刷については、P.83「操作部を使用して保留印刷文書を印刷する」を参照してください。
- プリンタードライバーで［試し印刷］を指定した文書は、確認用の1ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。試し印刷文書の印刷については、P.76「2部目以降を印刷する」を参照してください。
- プリンタードライバーで［保存して印刷］を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。保存文書の印刷については、P.87「操作部を使用して保存文書を印刷する」を参照してください。

印刷範囲を確認する

本機の推奨印刷範囲は以下の図のとおりです。

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 2.0～6.0mm
4. 0.0～4.0mm
5. 0.5mm 以上
6. 0.5～3.5mm

補足

- 印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって異なることがあります。
- プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては推奨印刷範囲外に印刷できますが、思いどおりの印刷結果が得られない、または用紙が正しく送られないことがあります。
- 緑なし印刷には対応していません。

2. プリンタードライバーの設定画面を開く

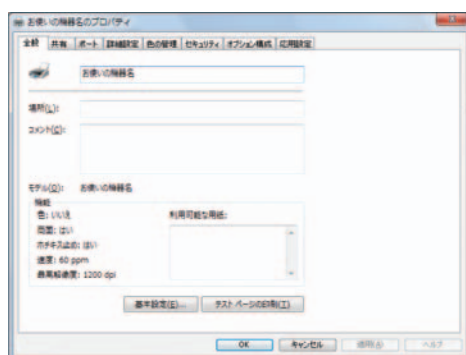
RPCS プリンタードライバーの設定画面の開きかたについて、Windows 7 を例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

プロパティ画面を開く

［デバイスとプリンター］ウィンドウから、プリンタードライバーのプロパティ画面を表示させる方法について説明します。

重要

- プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定はユーザーごとに変更できません。プリンターのプロパティの設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの設定です。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. ［プリンターのプロパティ］をクリックします。

印刷設定画面を開く

［スタート］から開く

［デバイスとプリンター］ウィンドウから、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示させる方法について説明します。

重要

- プリントサーバーから配布されたドライバーを使用するときは、プリントサーバーで設定された［標準の設定］の内容が初期値として表示されます。
- 印刷設定はユーザーごとに変更できません。印刷設定画面の設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの初期値です。

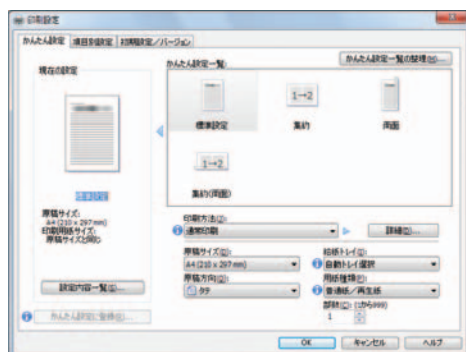
1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. ［印刷設定］をクリックします。

アプリケーションから開く

アプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定画面を表示させる方法について説明します。印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。

アプリケーションから印刷設定画面を開くと、［デバイスとプリンター］ウィンドウから表示される印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。ここでは Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

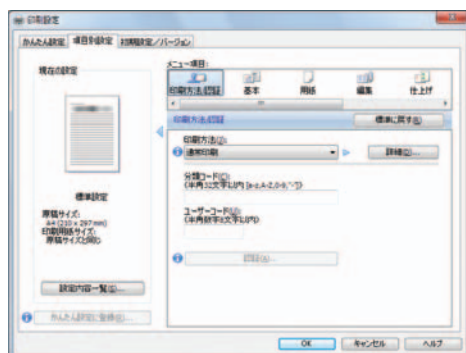
1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。

補足

- 実際の表示の方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

各メニューの紹介

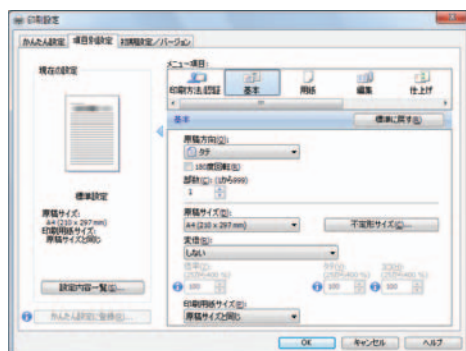
プリンタードライバーの [項目別設定] タブで設定できるメニューについて説明します。各メニューから設定できるその他の項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

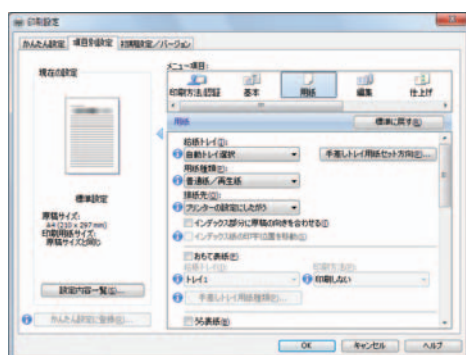
印刷方法/認証メニュー

印刷方法や分類コード、認証を設定できます。

- 本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷する方法については、P.75「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

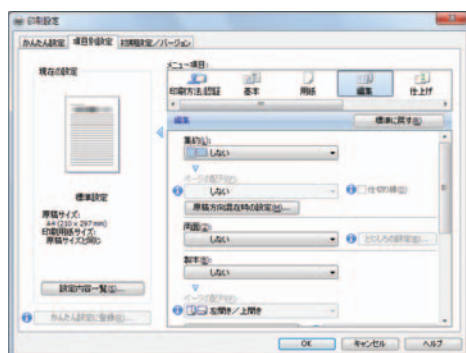
- 本機のドキュメントボックスにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷する方法については、P.94「ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。
- 分類コードの設定については、P.36「分類コードを登録する」を参照してください。

基本メニュー

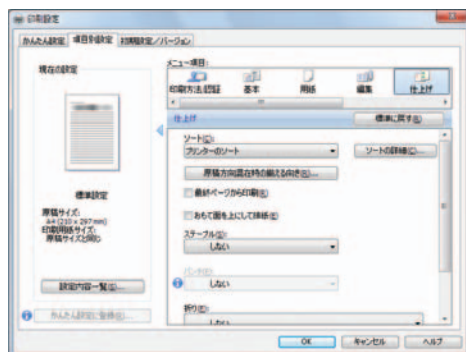
原稿方向や原稿サイズ、印刷用紙サイズを設定できます。

用紙メニュー

給紙トレイや用紙種類、排紙先のほかに、インデックス紙への印刷、おもて表紙/うら表紙、合紙、章分けページを設定できます。

- インデックス紙への印刷については、P.31「インデックス紙に印刷する」を参照してください。
- おもて表紙/うら表紙については、P.69「表紙に印刷する」を参照してください。
- 合紙については、P.73「合紙を挿入する」を参照してください。
- 章分けページについては、P.71「章を分けて印刷する」を参照してください。

編集メニュー

集約印刷や両面印刷、製本印刷、拡大連写などを設定できます。

- 集約印刷の設定については、P.25「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- 両面印刷の設定については、P.23「用紙の両面に印刷する」を参照してください。
- 製本印刷については、P.53「製本印刷する」を参照してください。
- 拡大連写については、P.29「1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）」を参照してください。

仕上げメニュー

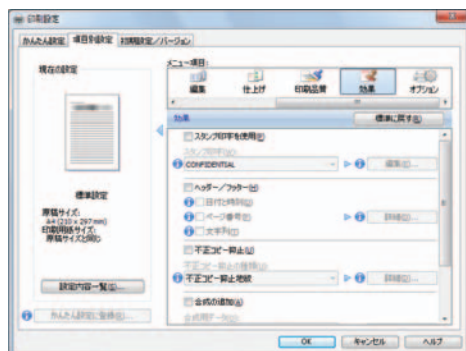
ソートやステープル、パンチ、折りを設定できます。

- ソートについては、P.56「部単位で印刷する（ソート）」を参照してください。
- ステープルについては、P.59「印刷した用紙をステープラーでとじる」を参照してください。
- パンチについては、P.62「印刷した用紙にパンチで穴をあける」を参照してください。
- 折りについては、P.64「印刷した用紙を折る」を参照してください。

印刷品質メニュー

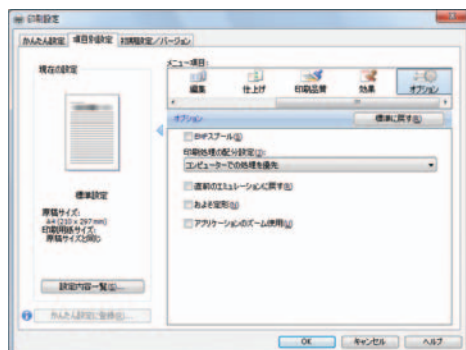
トナーセーブや解像度などを設定できます。

- トナーセーブの設定については、P.46「トナーセーブ機能を使用する」を参照してください。

効果メニュー

スタンプ印字やイメージスタンプ、不正コピー抑止などを設定できます。

- スタンプ印字およびイメージスタンプの設定については、P.27「原稿に文字やイメージをスタンプする」を参照してください。
- 不正コピー抑止の設定については、P.39「複製できない文書を印刷する」を参照してください。

オプションメニュー

印刷の処理方法などを設定できます。

- エミュレーションを併用している環境で RPCS ドライバーから印刷したときに、自動で使用中のエミュレーションに戻す方法については、P.47「印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す」を参照してください。

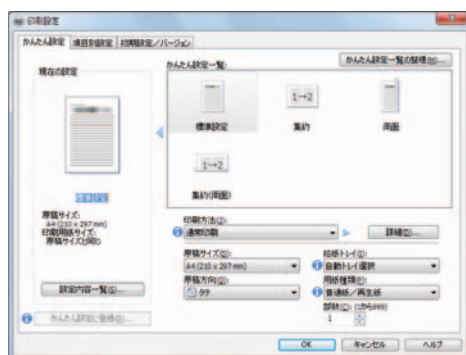
かんたん設定を使用する

よく使用する印刷機能の一部は、［かんたん設定］タブの「かんたん設定一覧：」に登録されています。メニューから設定名を選択するだけで、印刷方法を指定できます。

「かんたん設定」を使用するには、「かんたん設定一覧：」から、適用したい設定名をクリックします。設定名を選択するだけで登録されている設定内容が反映されるため、印刷するときに何箇所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしたりすることを防止できます。

「かんたん設定」は任意に追加、変更、削除することができます。また、複数のメンバーで同じかんたん設定を共有して使用することもできます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録した「かんたん設定」を使うだけで、さまざまな機能を活用することができます。

「かんたん設定」を登録するときは、以下の手順で操作してください。

1. **印刷設定画面を開きます。**

2. **印刷の設定を必要に応じて指定します。**

3. **［かんたん設定に登録...］をクリックします。**

4. **設定の名前とコメントを入力して［OK］をクリックします。**

5. **［OK］をクリックします。**

補足

- 「かんたん設定」の変更や削除について、詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプを表示する

ヘルプのトピックを表示する

プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、表示しているタブに対応する内容のトピックが表示されます。

プリンタードライバーの設定画面の表示項目についての説明を表示する

プリンタードライバーの設定画面右上にある？マークのボタンをクリックすると、ポインターの横に？マークが表示されます。

説明を見たい項目をクリックすると、対応する内容のトピックが表示されます。

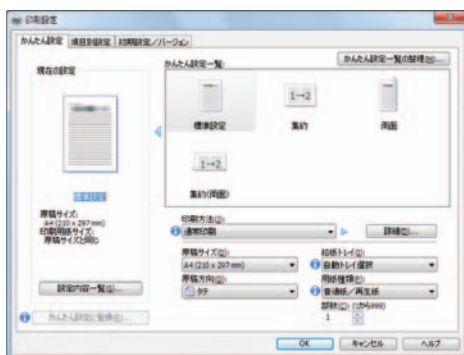
3. 印刷する

RPCS プリンタードライバーから印刷する方法を Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

通常印刷する

重要

- 本機がスリープモードまたは低電力モードのときに USB 2.0 経由で印刷すると、印刷できていても、印刷失敗のメッセージがパソコン上に表示されることがあります。正しく印刷されているかどうかを確認してください。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。

4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから [通常印刷] を選択します。
5. 「原稿サイズ：」プルダウンメニューから印刷する文書のサイズを選択します。
6. 「原稿方向：」プルダウンメニューから文書の印刷方向を選択します。
7. 「給紙トレイ：」プルダウンメニューから用紙がセットされている給紙トレイを選択します。

   [自動トレイ選択] を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動的に選択されます。
8. 「用紙種類：」プルダウンメニューから給紙トレイにセットされている用紙種類を選択します。
9. 複数の部数を印刷するときは、「部数：」ボックスに部数を入力します。

10. ［OK］をクリックします。

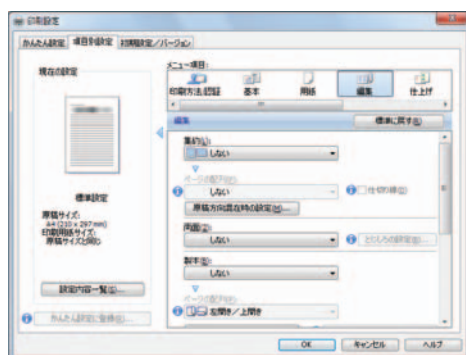
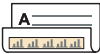
11. アプリケーションから印刷の指示をします。

用紙の両面に印刷する

プリンタードライバーで用紙の両面に印刷する方法について説明します。

重要

- 両面印刷できる用紙種類は以下のとおりです。
    - 普通紙（52 から 81g/m^2)、再生紙、特殊紙、中厚口（82 から 103g/m^2)、厚紙 1（104 から 169g/m^2)、色紙 1、色紙 2、レターヘッド付き用紙

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷］をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定］をクリックします。
4. [項目別設定］タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で［編集］メニューをクリックします。

6. 「両面：」プルダウンメニューから用紙のとじかたを選択します。とじしろを付けるときは、[とじしろの設定...］をクリックして、とじしろの幅を設定できます。
7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK］をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるときは、そのページの前で改ページすることがあります。

両面印刷の種類

用紙の一辺でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

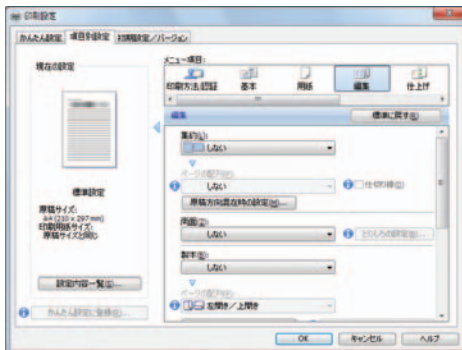
原稿方向	左開き	上開き	右開き
タテ			
ヨコ			

複数のページを集約して印刷する

プリンタードライバーで集約印刷する方法について説明します。集約を設定すると、複数のページを縮小して 1 ページにまとめて印刷ができます。

★ 重要

- 不定形サイズの用紙には集約を設定できません。定形サイズの用紙を使用してください。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［項目別設定］タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で［編集］メニューをクリックします。

6. 「集約：」プルダウンメニューから集約の種類を選択し、「ページの配列：」プルダウンメニューからページの並べかたを選択します。

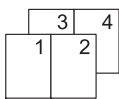
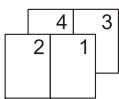
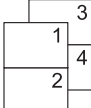
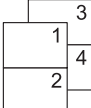
   仕切り線が必要なときは、［仕切り線］チェックボックスにチェックを入れてください。

   原稿の方向が混在するときは、［原稿方向混在時の設定...］をクリックし、「印刷結果：」プルダウンメニューから処理のしかたを選択します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. ［OK］をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがあるときは、そのページの前で改ページします。

- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷するときは、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。
- 集約印刷と製本印刷を組み合わせると、複数枚の原稿を 1 ページに集約してから冊子になるよう印刷できます。製本印刷については、P.53「製本印刷する」を参照してください。

集約印刷の種類

集約印刷で 1 ページにまとめることができるのは、2 ページ、4 ページ、9 ページ、16 ページです。4 ページ以上を 1 ページにまとめるときは、4 つのパターンからページの並べかたを選択できます。

ここでは 2 ページを 1 ページにまとめるときと、4 ページを 1 ページにまとめるときを例に説明します。

2 ページを 1 ページに集約

原稿方向	左から右／上から下	右から左／上から下
タテ	3 4 1 2	4 3 2 1
ヨコ	3 1 4 2	3 1 4 2

4 ページを 1 ページに集約

左上→右上→左下→右下	左上→左下→右上→右下	右上→左上→右下→左下	右上→右下→左上→左下
1 2 3 4	1 3 2 4	2 1 4 3	3 1 4 2

原稿に文字やイメージをスタンプする

プリンタードライバーでスタンプを設定すると、作成した文書に文字やイメージデータを重ねて印刷できます。

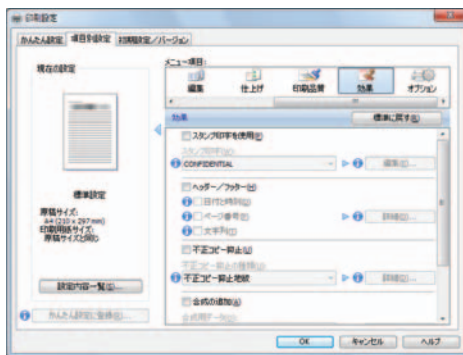
スタンプには、文字データを使用する「スタンプ印字」と、ビットマップファイル（.bmp）を使用する「イメージスタンプ」があります。スタンプ印字とイメージスタンプは同時に指定できません。

1. **画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。**

2. **「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。**

3. **［詳細設定］をクリックします。**

4. **［項目別設定］タブをクリックします。**

5. **「メニュー項目：」で［効果］メニューをクリックします。**

6. **スタンプ印字またはイメージスタンプを設定します。**

スタンプ印字を設定するときは、［スタンプ印字を使用］チェックボックスにチェックを入れ、「スタンプ印字：」プルダウンメニューから使用するスタンプ印字を選択します。

イメージスタンプを設定するときは、［イメージスタンプの追加］チェックボックスにチェックを入れ、「イメージスタンプ：」プルダウンメニューから使用するイメージスタンプを選択します。

7. **その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。**

8. **［OK］をクリックします。**

9. **アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- スタンプ印字は編集したり、新しく作成したりできます。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

- イメージスタンプを設定するときは、印刷するイメージデータが必要です。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スタンプの種類

プリンタードライバーにはいくつかのスタンプ印字があらかじめ登録されています。利用できるスタンプ印字の種類は次のとおりです。

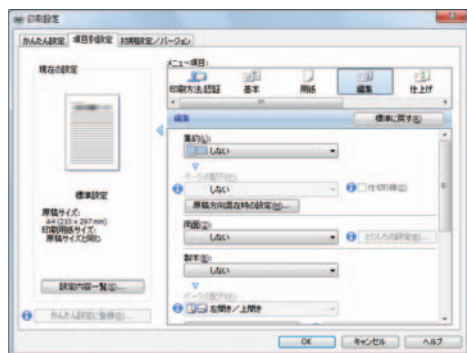
CONFIDENTIAL	マル秘	DRAFT	社外秘	COPY
A CONFIDENTIAL	A マル秘	A DRAFT	A 社外秘	A COPY

1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）

1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作ることができます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

重要

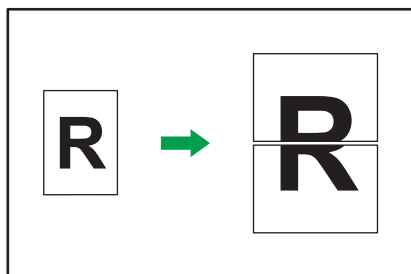
- 拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。

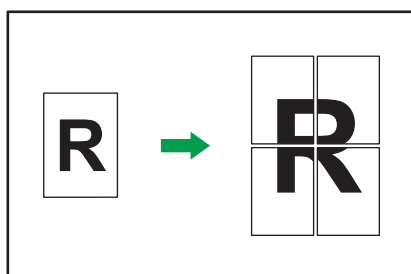
1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［項目別設定］タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で［編集］メニューをクリックします。

6. 「拡大連写：」プルダウンメニューから用紙の分けかたを選択します。
7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. ［OK］をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

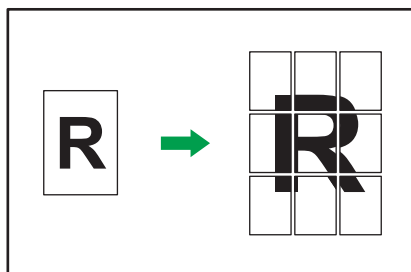
拡大連写の種類

拡大連写で設定できる用紙の分けかたは以下のとおりです。ここでは原稿の向きが□のときを例に説明します。

- 2 枚に分けて印刷

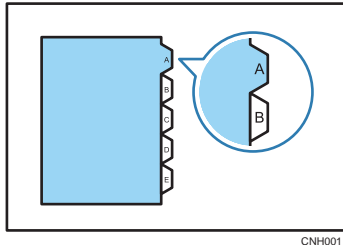
上下 2 枚に分割します。

- 4 枚に分けて印刷

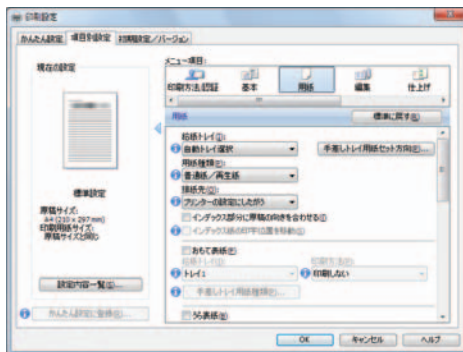
  縦 2 枚、横 2 枚に分割します。

- 9 枚に分けて印刷

  縦 3 枚、横 3 枚に分割します。

補足

- とじしろを設定しているときは、拡大連写を設定できません。とじしろについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- いずれかの折りが指定されているとき、拡大連写は設定できません。
- 不定形サイズの用紙は、拡大連写を設定できません。
- 拡大連写で印刷するとき、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

インデックス紙に印刷する

インデックスフェンスを本機に取り付けると、インデックス紙に印刷できます。タブ山（インデックス部）が右にあるインデックス紙だけに対応しています。

CNH001

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［項目別設定］タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で［用紙］メニューをクリックします。

6. ［インデックス部分に原稿の向きを合わせる］チェックボックスにチェックを入れます。

   タブ山の印刷位置を右に移動するときは、［インデックス紙の印字位置を移動］チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。タブ山の印刷位置は操作部で設定します。詳細については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。

   タブ山の印刷位置を右に移動しないときは、［インデックス紙の印字位置を移動］チェックボックスのチェックを外します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. ［OK］をクリックします。

9. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 印刷する画像がずれないように、あらかじめタブ山の位置を確認してください。タブ山のない位置に文字があると、トナーが用紙の裏について汚れることがあります。
- インデックス紙のタブ山位置と、パンチ穴やステープルの位置に矛盾があるときは、インデックス紙のタブ山位置が優先されます。
- 印刷できるインデックス紙のサイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- プリンタードライバーで［インデックス紙の印字位置を移動］を選択したときは、操作部の［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［トレイ設定選択］で、該当のトレイを［機器側設定優先］に設定してください。［トレイ設定選択］については、P.5「優先する用紙設定を選択する」を参照してください。
- この機能を使用すると、［拡張リミットレス給紙］は無効になります。［拡張リミットレス給紙］については、P.116「システム設定」を参照してください。

はがきに印刷する

操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。

操作部を使用してはがきを設定する

1. 手差しトレイに、はがきをセットします。

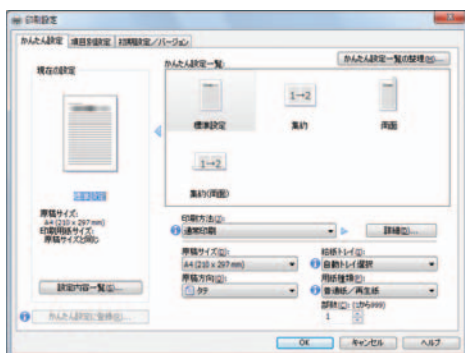
   はがきのセット方法については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

2. [初期設定/カウンター] キーを押します。

CJR003

3. [システム初期設定] を押します。
4. [用紙設定] タブを押します。
5. [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。
6. [▼次へ] を押し、[郵便ハガキ▭] を選択します。
7. [設定] を押します。
8. [▼次へ] を押します。
9. [用紙種類設定：手差しトレイ] を押します。
10. 「用紙種類」から [表示しない] を選択し、「用紙厚さ」から [厚紙 2] を選択します。
11. [設定] を押します。
12. [初期設定/カウンター] キーを押します。

プリンタードライバーを使用してはがきを印刷する

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。

4. 「原稿サイズ：」プルダウンメニューから、[郵便ハガキ(100 x 148 mm)] を選択します。
5. 「給紙トレイ：」プルダウンメニューから、[手差し] を選択します。
6. 「用紙種類：」プルダウンメニューから、[厚紙 2（170 から 216g/m^2)] を選択します。
7. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

スプール印刷を設定する

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのとき、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

重要

- **スプール印刷中は本機のハードディスクにアクセスするので、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。**
- **BMLinkS、diprint、LPR、IPP、ftp、sftp、SMB（TCP/IP（IPv4））、WSD（Printer）以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。**

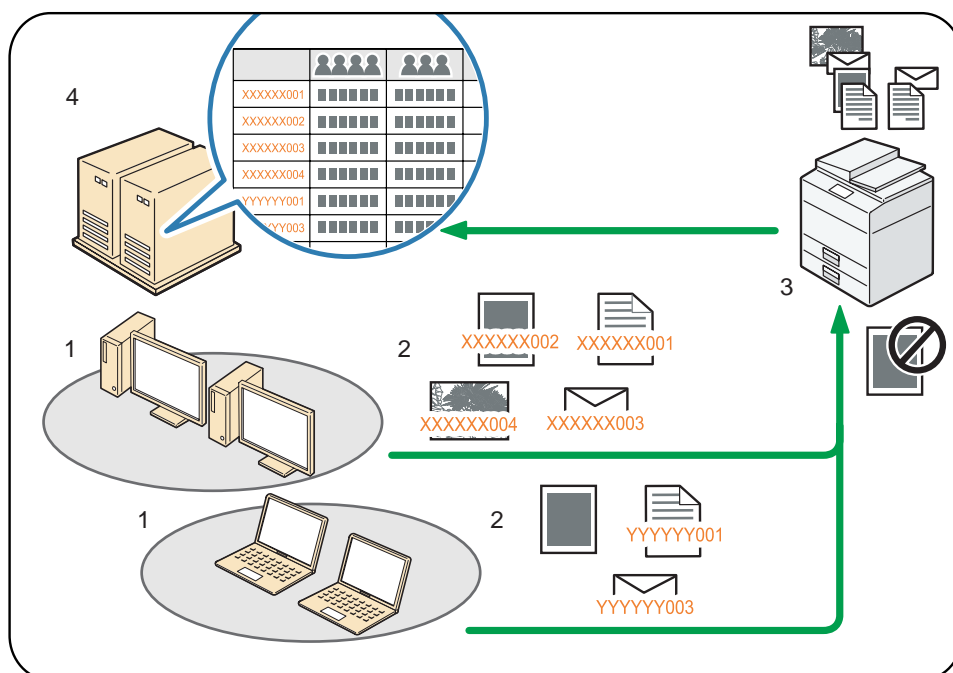
スプール印刷は Web Image Monitor、または telnet で設定できます。Web Image Monitor については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」、および Web Image Monitor のヘルプを参照してください。telnet については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「telnet を使う」を参照してください。

スプール印刷が設定されているときは、スプール中のジョブ一覧を本機の操作部の画面に表示できます。操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押してから［ジョブスプール一覧表示］を押します。スプールされているジョブの一覧が表示されます。

スプール中のジョブを削除するときは、削除する文書を押し、［消去］を押します。

分類コードを登録する

分類コードを登録しておくと、分類コードごとの印刷枚数が本機に記録されます。

この機能を使い、たとえば利用目的や個人ごとに分類コードを設定しておくと、印刷枚数を利用目的や個人ごとに確認ができます。勘定科目ごとの収集やクライアントごとの課金管理などに適しています。

1. **管理する部や課、プロジェクトチーム、ユーザーなど**
2. **利用目的に応じて、分類コードをプリントジョブに入力します。**

   詳細は、P.37「分類コードを入力して印刷する」を参照してください。
3. **印刷します。**

   印刷時に分類コードの入力を必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。詳細は、P.36「分類コードを設定する」を参照してください。
4. **外部ログ管理システムで分類コードを収集し、管理します。**

分類コードを設定する

プリントジョブに分類コードを必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

重要

- 分類コードを［必須］に設定したとき、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷できません。
- 分類コードを［必須］に設定したときでも、システム設定リストは印刷できます。
- 初期状態は［任意］に設定されています。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」カテゴリーの中の［ログ］をクリックします。**
4. **「共通設定」カテゴリーの中の「分類コード」の［必須］か［任意］をクリックします。**
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

3

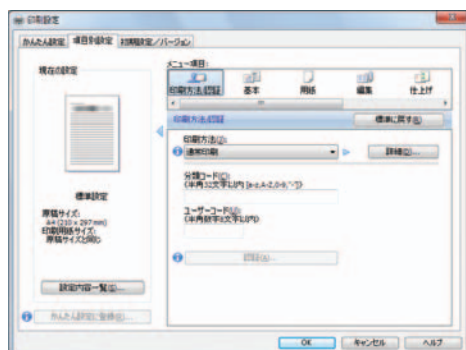
分類コードを入力して印刷する

分類コードが必須の環境で印刷するときは、プリントジョブに分類コードを指定して印刷します。ここでは RPCS プリンタードライバーを例に説明します。

重要

- 入力した分類コードはプリンタードライバーに保存されます。
- 複数の分類コードを切り替えたいときは、プリンタードライバーを別の名前で複数インストールし、それぞれに個別の分類コードを設定します。

1. **画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。**
2. **「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。**
3. **［詳細設定］をクリックします。**
4. **［項目別設定］タブをクリックします。**

5.「メニュー項目：」で［印刷方法/認証］メニューをクリックします。

6.「分類コード：」ボックスに分類コードを入力します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

8.［OK］をクリックします。

9. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

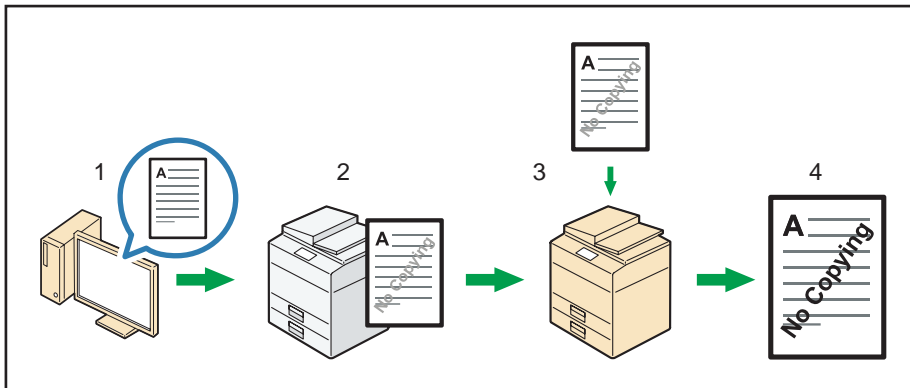
- 「印刷方法：」プルダウンメニューで［ドキュメントボックス］を選択したときは、分類コードを入力できません。

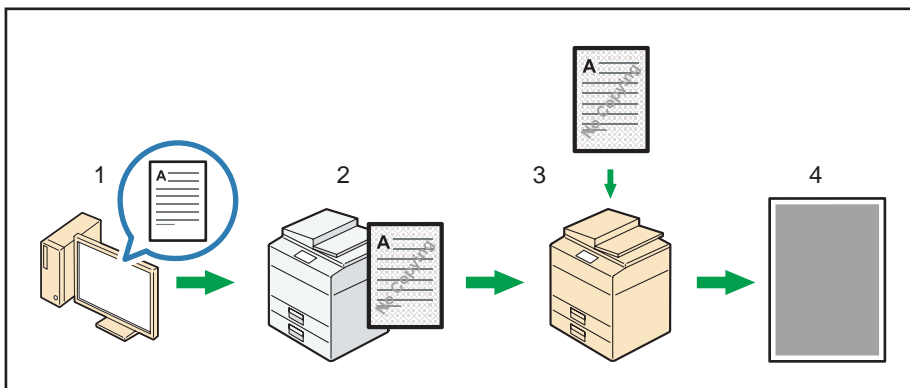
複製できない文書を印刷する

本機では、不正コピー抑止用の文字列とマスクパターンを埋め込んで印刷できます。不正コピー抑止には、「不正コピー抑止地紋」と「不正コピーガード」があります。

重要

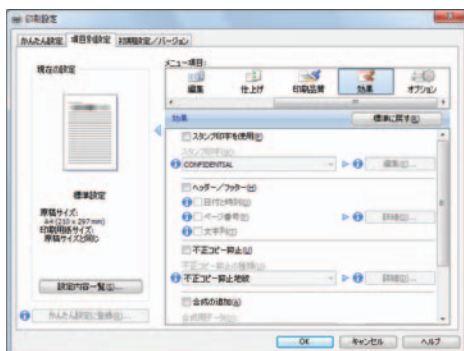
- 不正コピー抑止は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。

不正コピー抑止地紋を設定した文書を印刷すると

1. 不正コピー抑止地紋を設定し、文書を印刷します。
2. 印刷した文書に、設定した不正コピー抑止文字列およびマスクパターンが埋め込まれます。
3. 複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。
4. コピーした文書に、不正コピー抑止文字列が浮き上がります。

不正コピーガードを設定した文書を印刷すると

1. 不正コピーガードを設定し、文書を印刷します。
2. 印刷した文書に、不正コピーガード用の地紋および不正コピー抑止文字列が埋め込まれます。

3. 当社の不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。
4. コピーした文書の文字や画像がグレー地に変換されます。

不正コピー抑止地紋を設定する

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [効果] メニューをクリックします。

6. [不正コピー抑止] チェックボックスにチェックを入れ、「不正コピー抑止の種類：」プルダウンメニューから [不正コピー抑止地紋] を選択します。
7. [詳細...] をクリックします。
8. 各項目の設定内容を任意に変更し、[OK] をクリックします。
9. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
10. [OK] をクリックします。
11. アプリケーションから印刷の指示を出します。

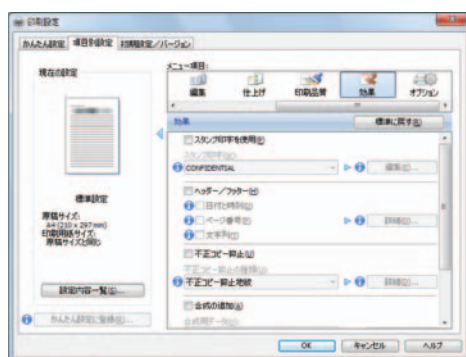
補足

- 印刷するデータに、部分的に地紋と文字列を埋め込むことはできません。
- 地紋効果は、コピー、スキャン、ドキュメントボックスへの蓄積結果をすべて保証しているものではありません。また蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。
- プリンタードライバーで設定できる項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

不正コピーガードを設定する

重要

- 不正コピーガードは、トナーセーブ機能には対応していません。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [効果] メニューをクリックします。

6. [不正コピー抑止] チェックボックスにチェックを入れ、「不正コピー抑止の種類：」プルダウンメニューから [不正コピーガード] を選択します。
7. [詳細...] をクリックします。
8. 各項目の設定内容を任意に変更し、[OK] をクリックします。
9. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
10. [OK] をクリックします。
11. アプリケーションから印刷の指示を出します。

補足

- 不正コピーガードでグレー地に印刷するには、本機側での設定もあわせて必要です。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 印刷するデータに、部分的な地紋の埋め込みはできません。
- 普通紙、または白色度 70%以上の再生紙で、B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- 両面印刷するとき、裏面の文字や模様が透けることにより、機能が正常に動作しないことがあります。

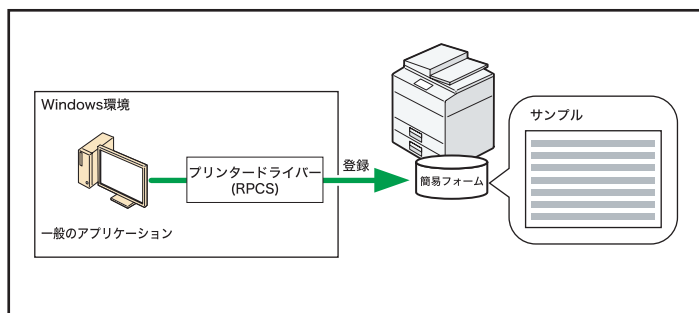
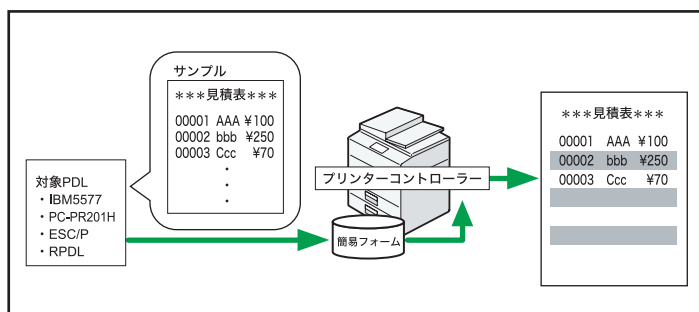
- プリンタードライバーで設定できる項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

おことわり

- 当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件などによっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しないことがあります。この点をご理解のうえ、ご使用ください。
- 不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害について、当社は一切その責任をおいかねます。あらかじめご了承ください。

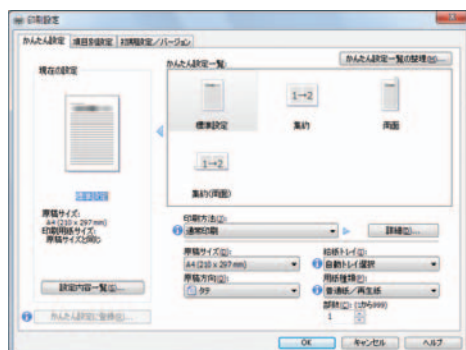
登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）

本機に登録したフォームデータと印刷する原稿を合成して、1 枚の原稿として印刷できます。

市販の Windows 対応アプリケーションソフトを使用して作成したフォームデータを RPCS プリンタードライバーから本機に登録します。

RPDL、またはエミュレーションの R55 を使用してフォームを実行すると、印刷する原稿と登録しておいたフォームを合成して印刷できます。

フォームデータの登録

RPCS プリンタードライバーを使用して、作成したフォームデータを本機に登録します。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。

3. ［詳細設定］をクリックします。

4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから［イメージオーバーレイ用にプリンターに保存］を選択します。
5. ［詳細...］をクリックします。
6. 必要に応じて項目を設定し、［OK］をクリックします。
7. ［OK］をクリックします。

登録したフォームを使用して印刷する

基幹系業務アプリケーションやホスト端末エミュレーションの設定にコマンドを追加すると、イメージオーバーレイ印刷を使用できます。エミュレーションの R55 が必要です。

IBM AS/400® Pcomm の PDT ファイルの設定例は以下のとおりです。

```
EJC EQU 1B 7E 01 00 00
INZ EQU 1B 7E 0E 00 01 06
RJ1 EOU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E 20 = 20 O N
RJ2 EOU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E N U M B E R 20 = 20 1
END_MACROS                                    /*イメージオーバーレイ呼び出し
/*************************************************************************************/
/*                        Session Parameters                    */
/*************************************************************************************/
MAXIMUM_PAGE_LENGTH=066
MA  IMUM_PRINT_POSITION=132
DEFAULT_CPI?=010
DEFAULT_LPI?=006
COMPRESS_LINE_SPACING?=NO
FORM_FEED_ANY_POSITION?=YES
HORIZONTAL_PEL=120
UNITS_OF_DRAW_LINE=
KANJI_CODE?=SHIFT_JIS
ZENKAKU_SPACE=
PAGE_LENGTH_TYPE?=6INCH
/*************************************************************************************/
/*                        Control Codes                  */
/*************************************************************************************/
START JOB=            INZ SEL LL6 P10
END JOB=INZ
BACKSPACE=BAK
BELL=BELL
```

CLC003

トナーを節約して印刷する

トナーセーブ機能を使用する

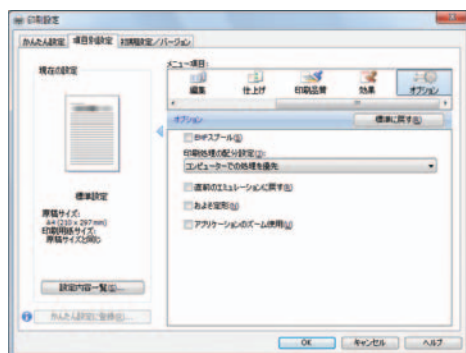
トナーセーブ機能を使用すると、通常よりも薄い色で印刷されるため、トナーを節約できます。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [印刷品質] メニューをクリックします。

6. 「トナーセーブ：」プルダウンメニューから [する] を選択します。
7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示を出します。

印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す

エミュレーションを併用している環境で、RPCS プリンタードライバーから印刷ジョブを送信したときに、自動で直前に使用していたエミュレーションに戻す機能です。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [オプション] メニューをクリックします。

6. [直前のエミュレーションに戻す] チェックボックスにチェックを入れます。
7. [OK] をクリックします。
8. アプリケーションから印刷の指示をします。

印刷を中止する

本機とパソコンから印刷を中止します。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作します。

1. **印刷を中止するデータが、本機から印刷されているか確認します。**

   データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。

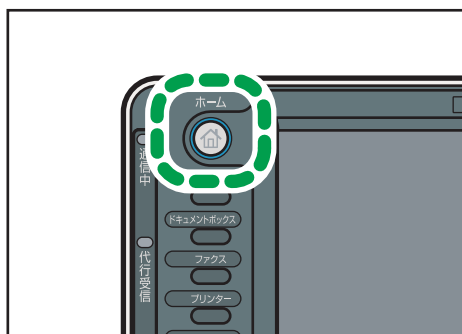
2. **印刷を中止します。**

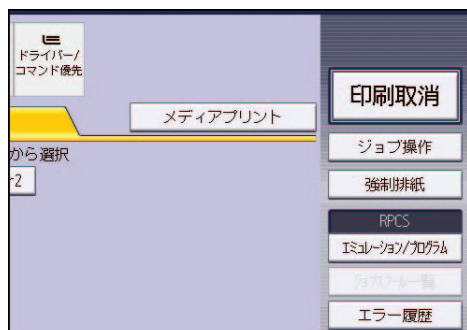
   データの印刷状況によって、次のいずれかの手順で操作します。

印刷開始前のとき

1. **Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。**
2. **印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。**
3. **［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。**

印刷中のとき

1. **操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。**

CJR001

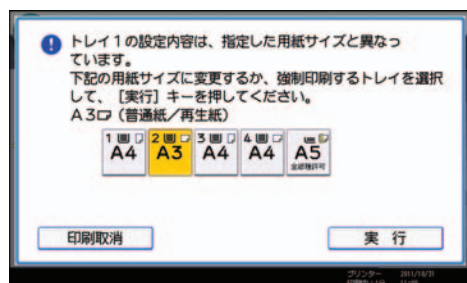
2. ［印刷取消］または［ストップ］キーを押します。

3. 印刷中のジョブを消去するときは［印刷中止］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全ジョブ取消］を押します。

4. ［消去する］を押します。

補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、［プリンター初期設定］の［インターフェース設定］の［インターフェース切替時間］を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、［印刷取消］または［ストップ］キーを押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に一致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、本機の操作部に警告画面が表示されます。表示された内容にしたがって、印刷を継続するか中止するかを選択してください。

重要

- 以下の条件のとき、トレイを変更して強制印刷できません。
    - ステープル、パンチ、折りを設定しているとき。ただし、ステープル、パンチ、折りを解除すれば、強制印刷できます。
    - 両面印刷ができないトレイを指定して、両面印刷を設定しているとき。ただし、両面印刷を解除すれば、強制印刷できます。
    - おもて表紙/うら表紙/合紙設定しているとき
    - 章分け/ 章区切りを設定しているとき

補足

- ソート印刷の 1 部目で強制印刷を実行したとき、1 部だけ指定した給紙トレイから印刷し、ソート印刷は解除されます。
- ソート印刷の 2 部目以降で強制印刷を実行したとき、実行中の部だけ印刷します。

強制印刷する

トレイを選んで強制印刷する方法について説明します。

1. 画面に表示されているトレイの中から、使用するトレイを押して選びます。

   用紙を補給して印刷するときは、正しい用紙をセットしてからトレイを選んでください。

2. ［実行］を押します。

補足

- エラースキップの設定がされているときは、設定時間経過後に、いずれかのトレイの用紙で印刷されます。エラースキップについては、P.9「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。

印刷を中止する

1. [ジョブリセット] を押します。
2. 印刷中のジョブを消去するときは [印刷ジョブ消去]、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは [全ジョブ消去] を押します。
3. [消去する] を押します。

補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、[プリンター初期設定] の [インターフェース設定] の [インターフェース切替時間] を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、[ジョブリセット] を押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

4. 製本や仕分けに便利な機能

表紙用の用紙への印刷、合紙の挿入、ステープル、パンチ、折り、ソートなどの、便利な印刷機能について説明します。

製本印刷する

プリンタードライバーで用紙の中央でとじて印刷する方法について説明します。

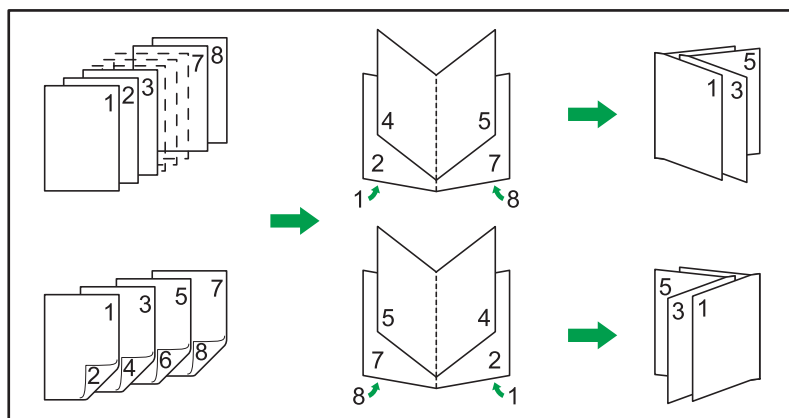
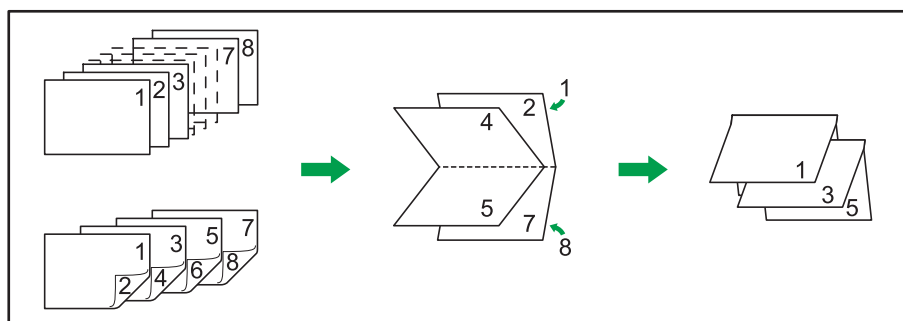
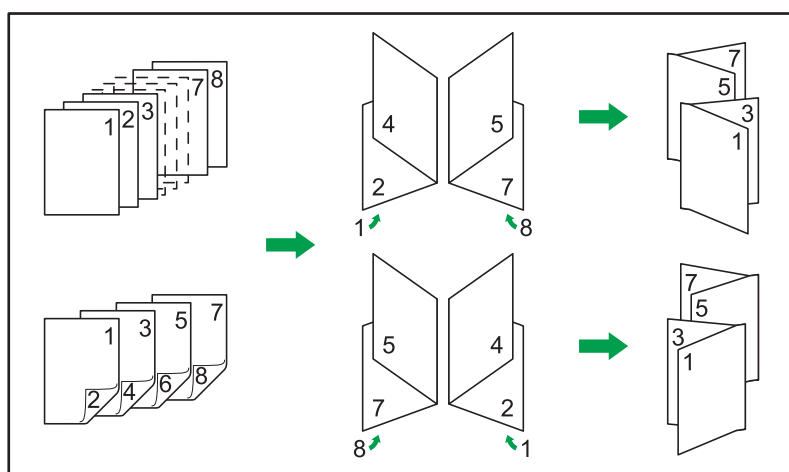
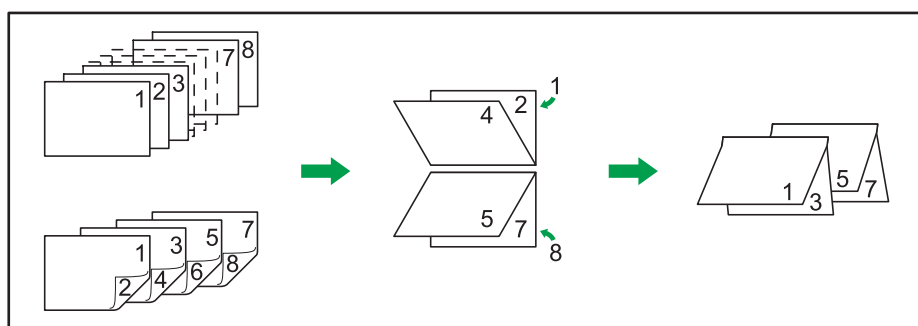
製本印刷は［項目別設定］タブの［編集］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **製本印刷できる用紙種類は以下のとおりです。**
  - **普通紙（52 から 81g/m²）、再生紙、特殊紙、中厚口（82 から 103g/m²）、厚紙 1（104 から 169g/m²）、色紙 1、色紙 2、レターヘッド付き用紙**

製本印刷の種類

用紙の中央でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

- 週刊誌（左開き）/週刊誌（右開き）

- 週刊誌（上開き）

- ミニ本（左開き）/ミニ本（右開き）

- ミニ本（上開き）

補足

- 週刊誌（左開き）、週刊誌（右開き）、ミニ本（左開き）、ミニ本（右開き）は原稿方向が［タテ］のときに指定できます。
- 週刊誌（上開き）、ミニ本（上開き）は原稿方向が［ヨコ］のときに指定できます。

- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるとき、そのページの前で改ページすることがあります。
- 製本印刷と集約印刷を組み合わせると、複数枚の原稿を 1 ページに集約してから冊子になるよう印刷できます。集約印刷については、P.25「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。

部単位で印刷する（ソート）

会議資料など複数部数の印刷をするとき、ページ順に仕分けして印刷できます。パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込み、ソートします。

ソートは［項目別設定］タブの［仕上げ］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **最大 3,000 ページまでの文書を 999 部までソートできます。**
- **エラーが発生した印刷ジョブを［エラースキップ］により強制印刷したときは、ソートが解除されます。［エラースキップ］については、P.9「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。**

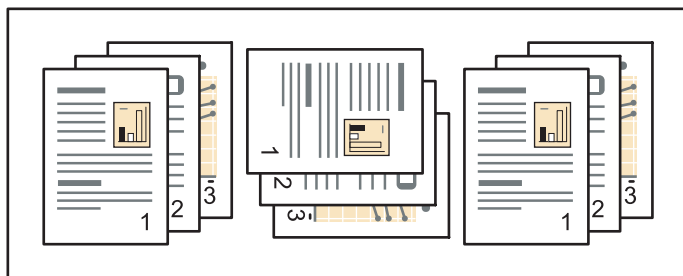
ソートの種類

- ソート

  1 部ずつそろえて印刷します。

- 回転ソート

  1 部ずつ交互に向きを変えて印刷します。

  同じ用紙サイズで、同じ用紙種の用紙を異なる方向（）にセットした 2 段の給紙トレイが必要です。

- シフトソート

シフトソートするには、フィニッシャーまたはシフトトレイが必要です。

1 部または各動作ごとの印刷が排出されるたびに、次の印刷をずらして排出するので、部や動作の区切りがわかります。

ソートの注意

ソートが解除される条件について説明します。

回転ソートが解除されるとき

以下の条件で回転ソートが解除され、シフトソートになります。

- ステープルが指定されたとき
- パンチが指定されたとき
- いずれかの折りが指定されたとき
- 用紙サイズが混在しているとき
- 給紙トレイが指定されたとき
- おもて表紙/うら表紙が指定されたとき
- 合紙が指定されたとき
- 章分けページが指定されたとき
- 不定形サイズが指定されたとき
- 排紙先にシフト機能があるとき

シフトソートが解除されるとき

- 排紙先にシフト機能がないとき
- 印刷結果が 1 枚のとき

補足

- プリンタードライバーでソートまたは回転の設定をするときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- オプションが正しく設定されていないとき、フィニッシャーまたはシフトトレイを接続しているのにシフトソートの設定ができないことがあります。プリンタードライ

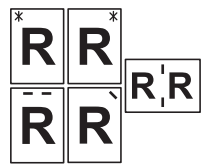
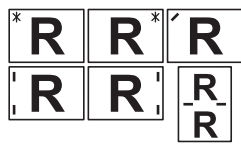
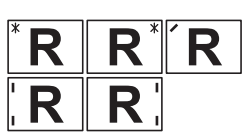
バーのプロパティ画面の［オプション構成］タブでオプションを正しく設定してください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。

- 各オプションのソート、回転ソート、シフトソートできる用紙のサイズと枚数については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。

印刷した用紙をステープラーでとじる

フィニッシャーを本機に取り付けることで、印刷物を 1 部ずつステープラーでとじることができます。

ステープルは［項目別設定］タブの［仕上げ］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- 本機とパソコンが双方向通信していないときは、プリンターのプロパティから必ずオプションの設定をしてください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
- ステープルをするときは、プリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を必ず設定してください。
- ステープルできる用紙のサイズや枚数については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- 印刷方向と用紙のセット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。

ステープルの位置

印刷方向と用紙のセット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置は次のとおりです。

本機の用紙方向	印刷データの方向	仕上がり	
		フィニッシャー SR4070	フィニッシャー SR4080/フィニッシャー SR4060
	タテ		
	ヨコ		

本機の用紙方向	印刷データの方向	仕上がり	
		フィニッシャー SR4070	フィニッシャー SR4080/フィニッシャー SR4060
	タテ		
	ヨコ		

補足

- 集約や両面を組み合わせた印刷をするときは、意図しない位置にステープルされることがあります。ステープルの設定をしたあと、プリンタードライバーのプレビューアイコンに表示されているステープル位置を確認してください。

ステープルの注意

印刷物のページ数がステープルできる枚数を超えているときは、ステープルできる枚数で一度とじてから、残りの枚数を別にとじます。印刷物のページ数がステープルできる枚数を超えているときに、ステープルを自動で解除したい場合は、販売店またはサービス実施店に連絡してください。ステープルできる枚数については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。

ステープルが解除されるとき

以下の条件でステープルが解除されます。ソートが同時に指定されているときは、ソートされます。

- ステープルできない用紙サイズ、用紙種類が選択されたとき
- 混在できない用紙サイズを組み合わせて印刷したとき
- ステープルできる箇所以外のステープル位置を指定したとき
- 両面印刷時に、両面とじ方向とステープル印刷のとじ位置に矛盾があるとき
- レターヘッドモードの画像の向きとステープル印刷のとじ位置に矛盾があるとき
- 手差しトレイから給紙したとき
- Z 折りを指定したとき、折り結果がステープル不可の用紙サイズになった場合
- 印刷結果が 1 枚のとき

- ソートできる条件を満たしていないとき
- ソート用記録領域がジョブの途中でオーバーフローしたとき
- エラーレポートが印刷されているとき
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［トレイ設定選択］で［ドライバー/コマンド優先］に設定されているとき

補足

- エラースキップを無効にしたときにステープルの針がなくなると、メッセージが表示されます。ステープルを解除すると、印刷が継続されます。
- フィニッシャーを装着しているときは、ステープルまたはシフトソートを選択すると、排紙先の設定に関係なく「フィニッシャー・シフトトレイ」に排紙されます。
- オプションが正しく設定されていないとき、フィニッシャーを接続しているのにステープルを設定できないことがあります。プリンタードライバーのプロパティ画面の［オプション構成］タブでオプションを正しく設定してください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
- 本機でレターヘッド紙を使用する設定がされているとき、指定された位置へステープルできないことがあります。
- 両面の指定をしているときは、ステープル位置ととじ方向を合わせてください。
- 使用するアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでステープルを設定するときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- 紙づまりが発生したとき、紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
    - フィニッシャーで紙づまりが発生したとき：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
    - 本機側で紙づまりが発生したとき：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
- Z 折り以外の折りとステープルは、同時に指定できません。

印刷した用紙にパンチで穴をあける

2 穴パンチユニットを装着したフィニッシャーを本機に取り付けることで、印刷物にパンチ穴をあけることができます。

パンチは［項目別設定］タブの［仕上げ］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **本機とパソコンが双方向通信していないときは、必ずプリンタードライバーでオプションの設定をしてください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。**
- **パンチをするときは、プリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を必ず設定してください。**

補足

- パンチできる用紙のサイズ、紙厚については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。

パンチの位置

印刷方向、用紙セット方向によって、指定できるパンチ位置が異なります。パンチできる位置は次のとおりです。

本機の用紙方向	印刷データの方向	仕上がり
	タテ	
	ヨコ	
	タテ	
	ヨコ	

補足

- 印刷 1 枚ごとにパンチ穴を開けるため、パンチ穴の位置に多少のばらつきが生じます。

パンチの注意

パンチが解除されるとき

以下の条件でパンチが解除されます。

- パンチできない用紙サイズ、用紙種類が選択されたとき
- 両面印刷時に両面とじ方向とパンチ位置に矛盾があるとき
- レターヘッドモードの画像の向きとパンチ位置に矛盾があるとき
- 手差しトレイから給紙したとき
- ステープルと同時に指定するときに、ステープル位置とパンチ位置に矛盾があるとき
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［トレイ設定選択］で［ドライバー/コマンド優先］に設定されているとき

補足

- エラースキップを無効にしたときにパンチくずがいっぱいになると、メッセージが表示されます。パンチを解除すると、印刷が継続されます。
- 本機でレターヘッド紙を使用する設定がされているとき、指定された位置へパンチができないことがあります。
- オプションが正しく設定されていないとき、パンチできるオプションを接続しているのにパンチを設定できないことがあります。プリンタードライバーのプロパティ画面の［オプション構成］タブでオプションを正しく設定してください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」
- 両面の指定をしているときは、パンチ位置ととじ方向を合わせてください。
- ステープルと同時に指定するときは、ステープルと同じ側にパンチを指定してください。
- 使用するアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでパンチを設定するときに、するときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- 紙づまりが発生したとき、紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
    - フィニッシャーで紙づまりが発生したとき：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
    - 本機側で紙づまりが発生したとき：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
- Z 折りとパンチは、同時に指定できません。

4

印刷した用紙を折る

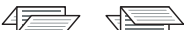
紙折りユニットやZ折りユニットを本機に取り付けると、印刷物を折ることができます。

折りは［項目別設定］タブの［仕上げ］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

紙折りユニットを使用する

紙折りユニットを装着したフィニッシャー SR4070 またはフィニッシャー SR4080 を本機に取り付けると、印刷物を折ることができます。

折り方は、Z折り、二つ折り、内三つ折り、外三つ折り、四つ折り、観音折りの6種類から選択します。

また、プリンタードライバーで［重ね折り］チェックボックスにチェックを入れると、二つ折り、内三つ折り、外三つ折りで、同じサイズの用紙を3枚まで重ねて折れます。

折り位置と結果

プリンタードライバーで折り位置を指定します。

重要

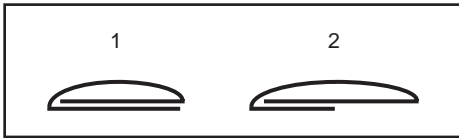
- **折りを設定できる用紙種類は以下のとおりです。**
    - **普通紙（52から81g/m^2）、再生紙、特殊紙、中厚口（82から103g/m^2）、厚紙1（104から169g/m^2）、色紙1、色紙2、**

仕上がりは、用紙サイズによって異なります。以下の表は、A3の用紙を折るときの例です。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷データの方向	折りの種類	仕上がり		
		内側印字	外側印字	指定なし
タテ	Z折り	-	-	
	二つ折り			-
	内三つ折り			-
	外三つ折り	-	-	
	四つ折り			-
	観音折り			-

印刷データの方向	折りの種類	仕上がり		
		内側印字	外側印字	指定なし
ヨコ	Z 折り	-	-	
	二つ折り			-
	内三つ折り			-
	外三つ折り	-	-	
	四つ折り			-
	観音折り			-

補足

- 折りや重ね折りを設定できる用紙サイズ、紙厚については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- 内三つ折り機能で B5 の用紙の重ね折りを選択したときは、重ね折りを選択しない場合と仕上がりサイズが異なります。

1. 重ね折りを選択しないとき
2. 重ね折りを選択したとき

折りの注意

折りが解除されるとき

以下の条件で折りが解除されます。

- 折りを設定できない用紙サイズ、用紙種類が選択されたとき
- 強制印刷を行ったとき
- ［エラースキップ］を設定しているとき

- 重ね折りを設定できない用紙種類が選択されたとき
- 重ね折りのとき、束となる用紙のサイズが異なるとき
- 重ね折りのとき、重ね折りを設定できる枚数を超えたとき
- 原稿方向と折り方向の組み合わせで、折りを設定できない折り方向が選択されたとき
- インサーターから給紙したとき

紙折りと組み合わせるとジョブリセットされる機能

- 合紙（*1）
- 仕切り紙（*1）
- ステープル（*2）
- パンチ

*1 二つ折り、内三つ折り、外三つ折り、単純四つ折り、観音折りを設定したときのみジョブリセットされます。

*2 二つ折り、内三つ折り、外三つ折り、単純四つ折り、観音折りを設定したときのみジョブリセットされます。Z 折りでは、中とじステープル（フィニッシャー SR4070 をお使いのとき）を除いて同時に指定できます。

補足

- 手差しトレイから給紙した用紙は、折りを設定できません。
- プリンタードライバーの「解像度」プルダウンメニューで［1200×1200 dpi］に設定したときは、折りを設定できません。
- 折りを設定したときは、回転ソートと回転リミットレス給紙は指定できません。
- オプションが正しく設定されていないとき、紙折りユニットを接続しているのに折りを設定できないことがあります。プリンタードライバーのプロパティ画面の［オプション構成］タブでオプションを正しく設定してください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
- Z 折りした用紙にステープルするときは、Z 折りした用紙 1 枚分は Z 折りしていない用紙 10 枚分に換算されるため、ステープルを設定できる枚数は少なくなります。ステープルを設定できる枚数については『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- ご使用の用紙や環境により、折りを設定すると、まれに画像面が擦れてトナーが付着し、汚れがつくことがあります。
- B4▭、A3▭、$8^1/_2$×14▭、11×17▭など大判の用紙を、外三つ折り/内三つ折り/観音折りするとシワがよることがあります。縮小機能と組み合わせられるときは、A4▭またはそれ以下の用紙サイズを選択してください。
- 用紙の折り目部分にかかる画像や印字部分が割れて、きれいに仕上がらないことがあります。また、お使いの紙種によっては、折り目部分の表面がわずかにはがれることがあります。このため、大量に印刷するときは、事前に 1 部を印刷して仕上がりを確認してください。

- 印刷枚数が折り機トレイの収容枚数を超えると印刷が止まります。このときはいったん用紙を取り除いて印刷を再開してください。ご使用の用紙の状態や折りの設定によって、折り機トレイの収容枚数は異なります。
- 重ね折りは最大 3 枚まで設定できます。

Z 折りユニットを使用する

Z 折りユニットを装着したフィニッシャー SR4070 またはフィニッシャー SR4080 を本機に取り付けると、印刷物を Z 折りできます。

Z 折り位置と結果

プリンタードライバーで Z 折り位置を指定します。

重要

- **Z 折りを設定できる用紙種類は以下のとおりです。**
    - **普通紙（52 から 81g/m^2）、再生紙、色紙 1、色紙 2、レターヘッド付き用紙**

仕上がりは、用紙サイズによって異なります。以下の表は、A3の用紙を折るときの例です。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷データの方向	仕上がり	
タテ	右開き	-
	左開き	-
	下開き	
ヨコ	右開き	
	左開き	
	下開き	-

補足

- Z 折りを設定できる用紙サイズ、紙厚については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。

4

Z 折りの注意

Z 折りが解除されるとき

以下の条件で Z 折りが解除されます。

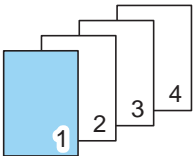
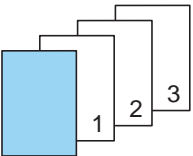
- Z 折りを設定できない用紙種類が選択されたとき
- 強制印刷を行ったとき
- レターヘッド設定で画像向きと折り位置に矛盾があるとき
- 手差しトレイから給紙されたとき
- 中とじステープルを、同時に指定したとき
- 先頭ページの折り位置を、物理的に実現できないとき
- インサーターから給紙したとき
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［トレイ設定選択］で［ドライバー／コマンド優先］に設定されているとき

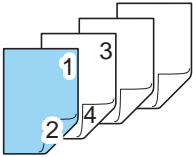
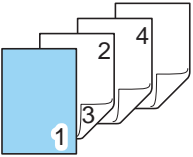
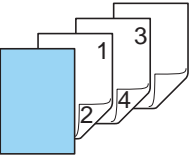
補足

- プリンタードライバーの「解像度」プルダウンメニューで［1200×1200 dpi］に設定したときは、Z 折りを設定できません。
- Z 折りを設定したときは、回転ソートと回転リミットレス給紙は指定できません。
- オプションが正しく設定されていないとき、Z 折りユニットを接続しているのに Z 折りを設定できないことがあります。プリンタードライバーのプロパティ画面の［オプション構成］タブでオプションを正しく設定してください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
- Z 折りした用紙にステープルするときは、Z 折りした用紙 1 枚分は Z 折りしていない用紙 10 枚分に換算されるため、ステープルを設定できる枚数は少なくなります。ステープルを設定できる枚数については『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- 2 ページ目以降が先頭ページと同じサイズのときは、先頭ページと同じ結果になります。
- 両面印刷のとじ方向と折りのとじ位置は、別に設定ができます。

表紙に印刷する

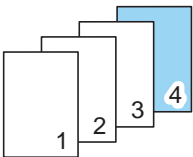
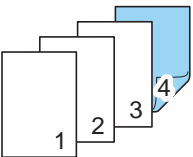
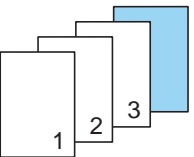
表紙用の用紙に印刷します。または、1 ページ目の前に表紙用の用紙を、最後のページにうら表紙用の用紙を挿入します。

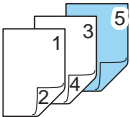
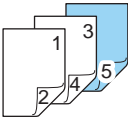
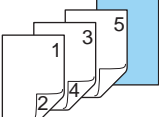
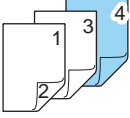
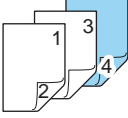
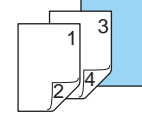
おもて表紙/うら表紙は［項目別設定］タブの［用紙］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **ソートの設定が必要です。ただし、回転ソートの設定はできません。**
- **インサーターから表紙を給紙するときは、表紙に印刷できません。**

おもて表紙

原稿の 1 ページ目を、表紙用の用紙に印刷します。

- 片面印刷

表紙用の用紙に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
1 2 3 4	1 2 3

- 両面印刷

表紙用の用紙の両面に印刷するとき	表紙用の用紙の片面に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

うら表紙

最終ページの原稿をうら表紙用の用紙に印刷します。

- 片面印刷

うら表紙用の用紙の内側に印刷するとき	うら表紙用の用紙の外側に印刷するとき	うら表紙用の用紙に印刷しないとき
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3

- 両面印刷

	うら表紙用の用紙の内側に印刷するとき	うら表紙用の用紙の外側に印刷するとき	うら表紙用の用紙に印刷しないとき
奇数ページ			
偶数ページ			

4

補足

- おもて表紙/うら表紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- おもて表紙/うら表紙をトレイにセットしたあとは、当該の用紙サイズを設定してください。
- 合紙が指定されているときは、おもて表紙/うら表紙の指定はできません。
- 表紙の両面に印刷するときは、［編集］メニューで両面印刷を指定してください。両面印刷の方法については、P.23「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

章を分けて印刷する

指定したページの前に用紙を挿入します。または、指定したページを常に 1 ページ目と同じ面に印刷します。

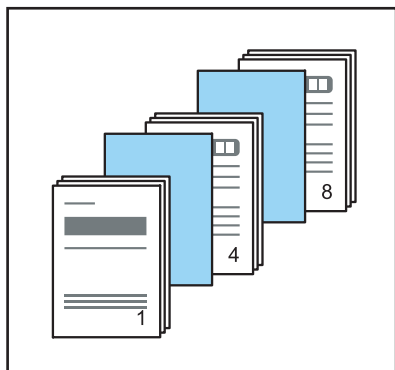
章分けページは［項目別設定］タブの［用紙］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

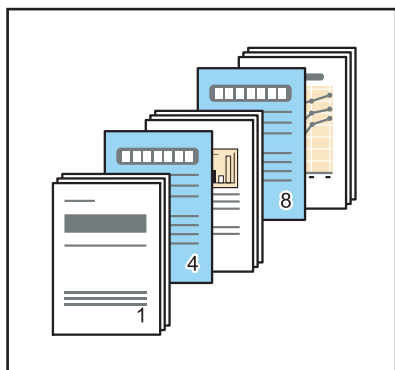
重要

- **章区切り紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。**
- **インサーターから章区切り紙を給紙するときは、章区切り紙に印刷できません。**

章を区切って印刷する

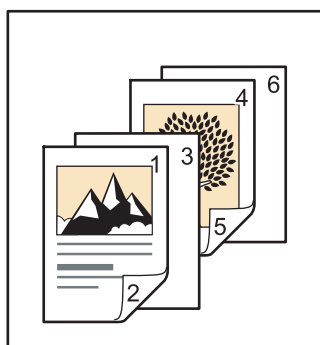
指定したページの前に用紙を挿入します。

- 章区切り紙に印刷しないとき

- 章区切り紙に印刷するとき

章区切り紙は両面印刷も指定できます。

指定したページを 1 ページ目と同じ面に印刷する

両面印刷時だけ有効な機能です。

CKN114

補足

- 集約印刷と同時に指定できます。
- ページ（章）はプリンタードライバーから 20 箇所まで指定できます。

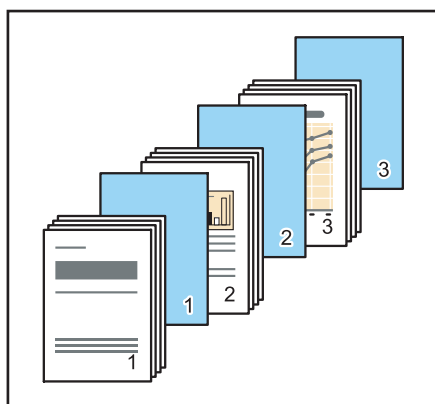
合紙を挿入する

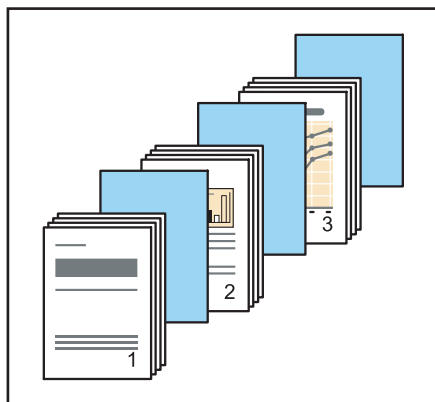
ページごとに合紙を挿入します。

合紙は［項目別設定］タブの［用紙］メニューで設定できます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

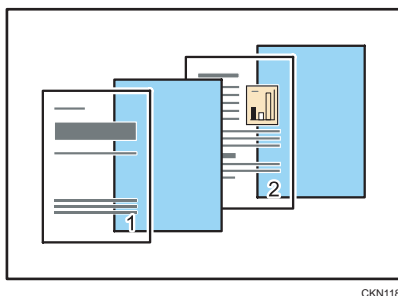
重要

- 合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。
- 合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、同じサイズで同じ方向にセットしてください。
- インサーターから合紙を給紙するときは、合紙に印刷できません。

合紙に印刷するとき

CKN115

合紙に印刷しないとき

CKN116

合紙を挿入すると、OHP フィルムの付着を防止できます。

CKN118

補足

- 両面印刷、表紙が指定されているときは、合紙の挿入はできません。
- 試し印刷を指定しているときは、1部を印刷して蓄積しません。
- 合紙用の用紙をトレイにセットしたあとは、当該の用紙サイズを設定してください。
- ソート、両面印刷、ステープルを同時に指定したとき、これらの機能は解除されます。
- Z折り以外の折りと合紙は、同時に指定できません。

5. 蓄積文書を印刷する

本機に蓄積された文書の印刷と管理の方法について説明します。文書の蓄積方法は、Windows 7 に付属の「ワードパッド」で RPCS プリンタードライバーを使用したときを例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

ハードディスクに文書を蓄積して印刷する

あらかじめプリンタードライバーからの印刷指示で本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータの印刷または削除ができます。

★重要

- **以下の条件のとき、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。**
    - **本機に蓄積されている印刷データの合計が、3,000 件に達しているとき(印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。)**
    - **1 文書の総ページ数が 3,000 ページを超えるとき**
    - **送信した印刷データと本機に蓄積されている文書との合計が 10,000 ページを超えるとき(印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。)**

この機能で使用できる印刷方法の種類は以下のとおりです。

- 試し印刷

  複数部数印刷するときなど、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認したあとに操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防止できます。設定については、P.76「試し印刷をする」を参照してください。

- 機密印刷

  ネットワークでプリンターを共有しているとき、他人に見られたくない文書を印刷する場合などに有効な機能です。機密印刷を使用すると、本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるので、他人に見られる心配がありません。設定については、P.79「機密印刷をする」を参照してください。

- 保留印刷

  本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷できます。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。また、文書の印刷時刻を指定できます。指定した時刻になると、自動的に印刷されます。設定については、P.82「保留文書を印刷する」を参照してください。

- 保存文書

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷できます。印刷終了後も文書が消去されないので、繰り返し印刷するときなどに有効です。設定については、P.86「保存文書を印刷する」を参照してください。

補足

- 本機の主電源スイッチを切っても、蓄積された印刷文書は消去されずに残りますが、[一時置き文書自動消去設定]や[保存文書自動消去設定]が優先されます。文書の自動消去設定については、P.115「調整 / 管理」を参照してください。

試し印刷をする

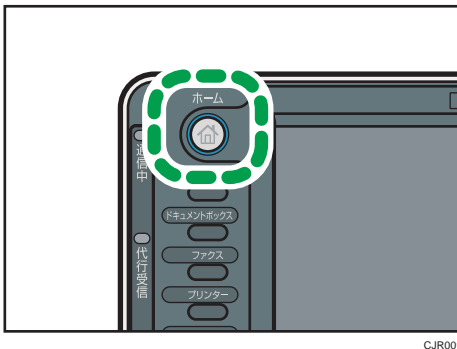
1 部目を印刷する

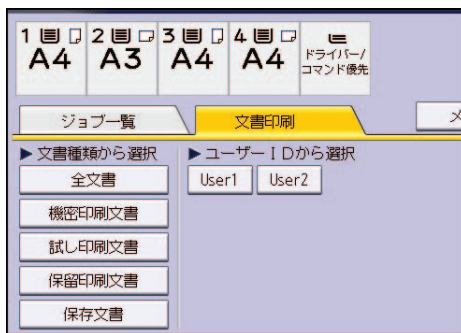
1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷]をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定]をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから[試し印刷]を選択します。
5. [詳細...]をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。
7. [OK]をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK]をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

2 部目以降を印刷する

重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

CJR001

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. ［試し印刷文書］を押します。
4. 印刷する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての試し印刷文書を選択できます。

5. ［印刷継続］を押します。
6. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。

   設定できる項目については、P.92「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

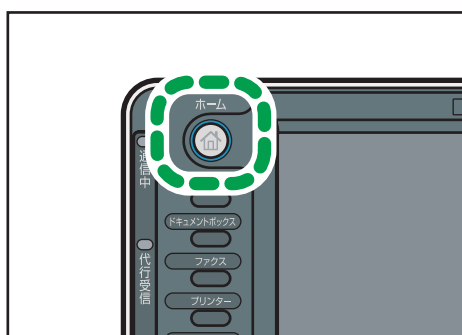
7. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

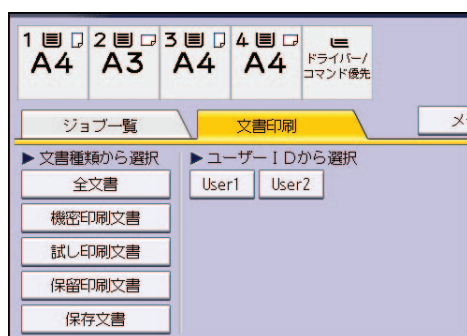
- 複数の文書を選択し、確認画面で部数を指定しなかったとき、印刷対象の文書の中で、プリンタードライバーから指定したもっとも少ない部数より 1 部少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。設定した部数の中でもっとも少ない部数が 1 のときは、すべての文書が 1 部ずつ印刷されます。
- 部数を変更したときは、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。

- 2 部目以降の印刷中に印刷を中止するには、[終了] を押してプリンター画面を表示させ、[ジョブリセット] か [ストップ] キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 試し印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

試し印刷文書を消去する

試し印刷の内容を確認し、2 部目以降を印刷しないときは、本機に蓄積されている文書を消去します。

1. 操作部左上の [ホーム] キーを押して、ホーム画面上の [プリンター] アイコンを押します。

CJR001

2. [文書印刷] タブを押します。

3. [試し印刷文書] を押します。

4. 消去する文書を選択します。

文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、すべての試し印刷文書を選択できます。

5. [消去] を押します。

6. [消去する] を押します。

- 試し印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

機密印刷をする

機密印刷文書を本機に蓄積する

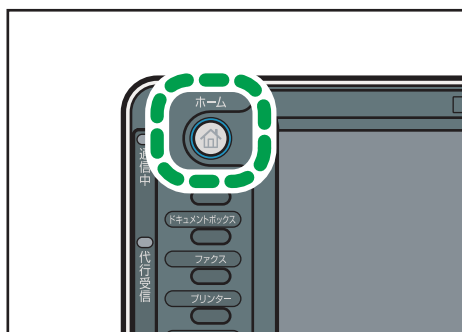
1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから [機密印刷] を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力し、「パスワード：」にパスワードを入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK] をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

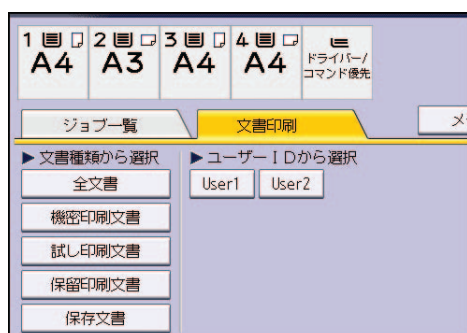
操作部を使用して機密印刷文書を印刷する

重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

5

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

CJR001

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. ［機密印刷文書］を押します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての機密印刷文書を選択できます。

5. ［印刷継続］を押します。

6. テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

7. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。

設定できる項目については、P.92「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

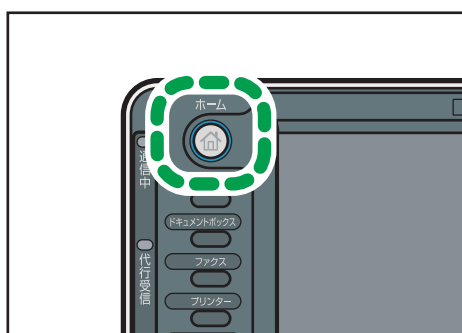
8. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

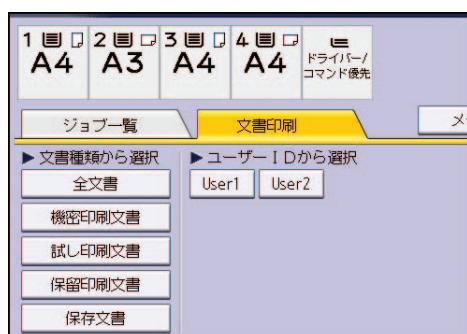
補足

- 複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

- 印刷開始後に印刷を中止するには、[終了]を押してプリンター画面を表示させ、[ジョブリセット]か[ストップ]キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 機密印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

機密印刷文書を消去する

1. 操作部左上の[ホーム]キーを押して、ホーム画面上の[プリンター]アイコンを押します。

CJR001

2. [文書印刷]タブを押します。

3. [機密印刷文書]を押します。
4. 消去する文書を選択します。

   文書を選択してから、[全ジョブ選択]を押すと、すべての機密印刷文書を選択できます。
5. [消去]を押します。
6. テンキーでパスワードを入力し、[実行]を押します。
7. [消去する]を押します。

補足

- 複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。
- 機密印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留文書を印刷する

保留印刷文書を本機に蓄積する

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから [保留印刷] を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。

   必要に応じて、ファイル名も設定できます。
7. 文書の印刷時刻を指定する場合は、[印刷時刻指定] チェックボックスにチェックを付け、時刻を指定します。

   指定できる印刷時刻は 24 時間形式です。
8. [OK] をクリックします。
9. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
10. [OK] をクリックします。
11. アプリケーションから印刷の指示をします。

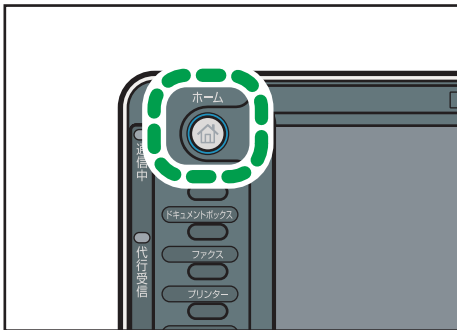
補足

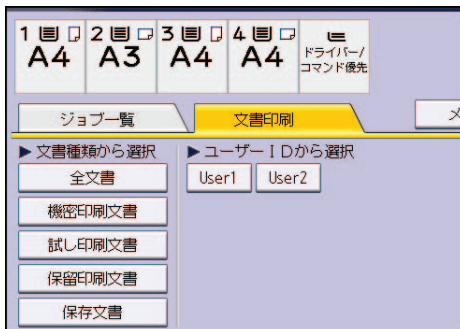
- 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
- 本機の主電源スイッチが切れている場合は、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷したいときは、あらかじめ [プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [主電源 Off 時の未処理文書] を [主電源 On で印刷する] に設定してください。詳細は、P.116「システム設定」を参照してください。
- 操作部の画面にエラーメッセージが表示されているときは、指定した時刻であっても文書が印刷されません。

操作部を使用して保留印刷文書を印刷する

重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

CJR001

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. ［保留印刷文書］を押します。
4. 印刷する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての保留印刷文書を選択できます。

5. ［印刷継続］を押します。
6. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。

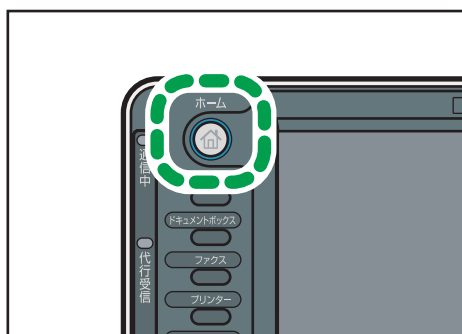
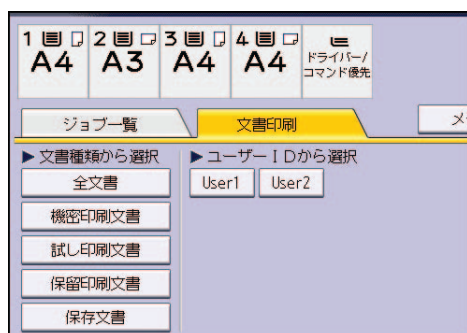
   設定できる項目については、P.92「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

7. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

補足

- 印刷時刻が指定された保留印刷文書を指定時刻になる前に印刷したい場合は、操作部を使って印刷します。
- 印刷開始後に印刷を中止するには、[終了]を押してプリンター画面を表示させ、[ジョブリセット]か[ストップ]キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 保留印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留印刷文書の指定時刻を変更する

1. 操作部左上の[ホーム]キーを押して、ホーム画面上の[プリンター]アイコンを押します。

2. [文書印刷]タブを押します。

3. [保留印刷文書]を押します。
4. 印刷時刻を変更する保留印刷文書を選択します。
5. [印刷時刻指定]を押します。
6. テンキーで印刷時刻を入力します。

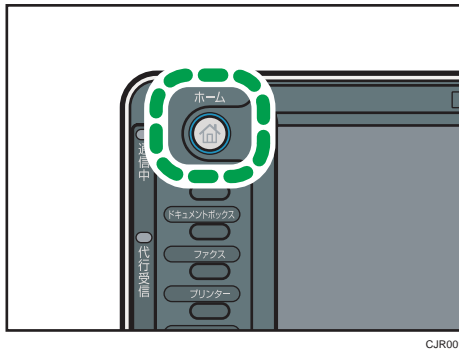
   印刷時刻の指定を解除するときは、[解除]を押します。

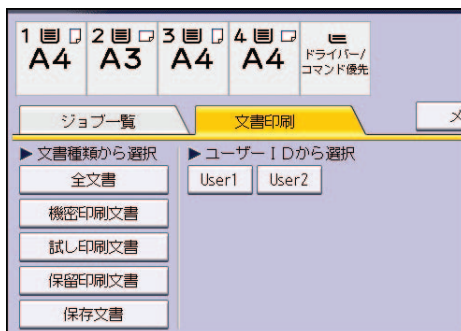
7. ［OK］または［#］を押します。

補足

- 保留印刷文書の印刷時刻は、Web Image Monitor でも変更、追加および消去ができます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留印刷文書を消去する

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

CJR001

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. ［保留印刷文書］を押します。

4. 消去する文書を選択します。

文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての保留印刷文書を選択できます。

5. ［消去］を押します。

6. ［消去する］を押します。

補足

- 保留印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保存文書を印刷する

保存文書を本機に蓄積する

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷]をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定]をクリックします。
4. 「印刷方法:」プルダウンメニューから[プリンターに保存]または[保存して印刷]を選択します。
5. 「印刷方法:」プルダウンメニューから保存文書の印刷方法を選択します。

   保存文書では4つの印刷方法を選択できます。

   「プリンターに保存(共有)」と「保存して印刷(共有)」を使用するときは、あらかじめ認証を有効にします。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

   - プリンターに保存

     本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷します。

   - 保存して印刷

     本機に文書を蓄積するのと同時に印刷します。

   - プリンターに保存(共有)

     本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷します。文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。

   - 保存して印刷(共有)

     本機に文書を蓄積するのと同時に印刷します。文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。

6. [詳細...]をクリックします。
7. 「ユーザーIDの入力:」にユーザーIDを入力します。

   必要に応じて、ファイル名とパスワードも設定できます。

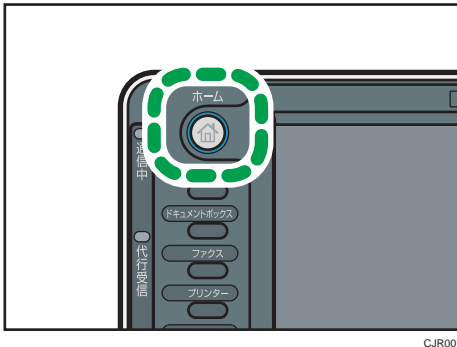
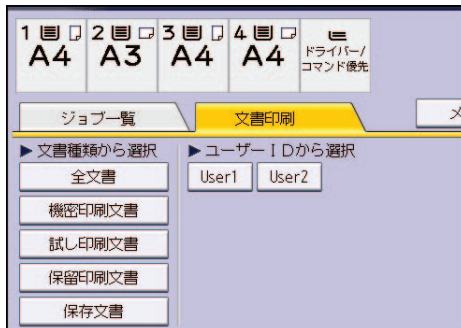
8. [OK]をクリックします。
9. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
10. [OK]をクリックします。
11. アプリケーションから印刷の指示をします。

5

操作部を使用して保存文書を印刷する

重要

- 印刷が終了しても、蓄積した文書は消去されません。文書を消去する方法については、P.88「保存文書を消去する」を参照してください。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. ［保存文書］を押します。

4. 印刷する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての保存文書を選択できます。

5. ［印刷継続］を押します。

   文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力してください。

   複数の文書を選択し、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

6. **文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。**

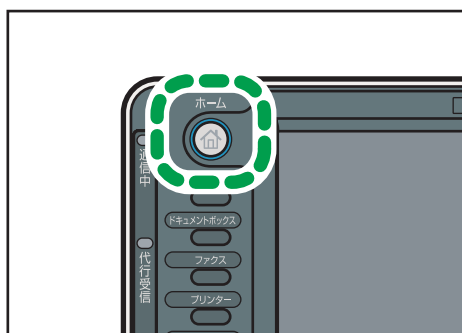
   設定できる項目については、P.92「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

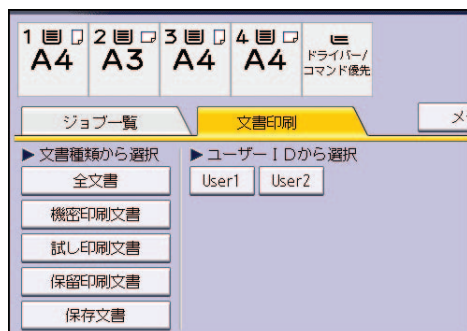
7. **印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。**

補足

- 複数の文書を選択し、確認画面で印刷部数を指定しなかったとき、印刷対象の文書の中でプリンタードライバーから指定したもっとも少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。
- 部数を変更したときは、印刷対象のすべての文書が変更した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するには、［終了］を押してプリンター画面を表示させ、［ジョブリセット］か［ストップ］キーを押します。
- 保存文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保存文書を消去する

1. **操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。**

CJR001

2. **［文書印刷］タブを押します。**

3. ［保存文書］を押します。

4. 消去する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての保存文書を選択できます。

5. ［消去］を押します。

   文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力してください。

   複数の文書を選択し、パスワード付きの文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が消去の対象になります。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

6. ［消去する］を押します。

補足

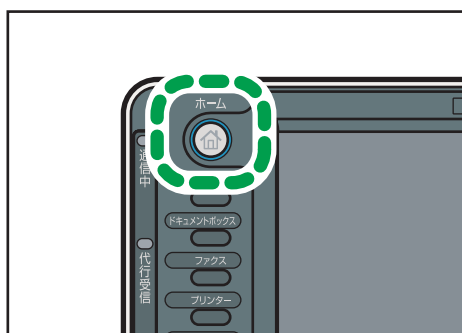
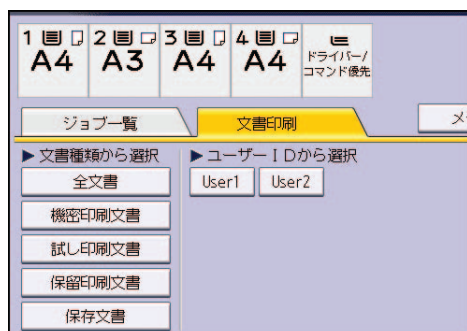
- 保存文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

5

エラーで蓄積された文書を印刷する

［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［エラージョブ蓄積・追い越し］により、文書が本機に蓄積されたときは、操作部を使用して印刷します。

［エラージョブ蓄積・追い越し］については、P.9「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. 印刷する文書種類を選択します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

5. ［印刷継続］を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

6. ［印刷詳細設定］を押して、エラーの原因になった設定を変更します。

設定できる項目については、P.92「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

7. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

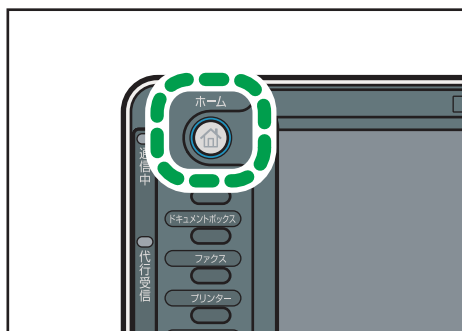
補足

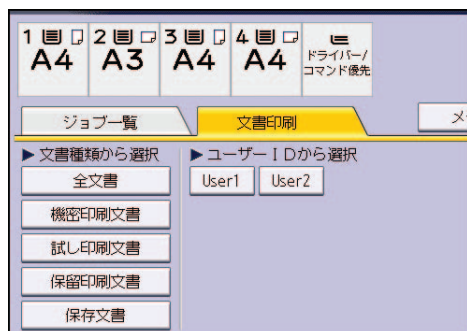
- 複数の文書を選択したときに、確認画面で印刷部数を指定しなかった場合は、印刷対象の文書の中でプリンタードライバーから指定したもっとも少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。
- 部数を変更したときは、印刷対象のすべての文書が変更した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するには、［終了］を押してプリンター画面を表示させ、［ジョブリセット］か［ストップ］キーを押します。
- 本機に蓄積された文書は、Web Image Monitor でも印刷を再開できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

ユーザー ID から印刷する

重要

- 印刷が終了すると、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。保存文書は、消去されません。保存文書を消去する方法は P.88「保存文書を消去する」を参照してください。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

CJR001

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. 印刷するユーザー ID を選択します。

   複数のユーザー ID を同時に選択できません。

4. 印刷する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

5. ［印刷継続］を押します。

   文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

5

複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

6. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。

設定できる項目については、P.92「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

7. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

操作部で設定できる印刷設定の項目

本機に蓄積した文書は、操作部の印刷詳細設定画面で印刷の設定を変更できます。設定できる項目は以下のとおりです。

- 給紙トレイ

  印刷に使用する給紙トレイを選択します。

- 部数

  数字キーを押して、印刷部数を指定します（1～999）。

- 両面

  両面印刷をするときに、とじ方向を選択します。

- 集約

  集約印刷をするときに、集約する枚数、ページの並べかた、仕切り線の有無を選択します。コマンドでプリンター言語の PDF を指定して、文書を蓄積したときに、この機能を使用できます。

- ソート/スタック

  2 部以上印刷するときに、1 部ごとに印刷（ソート）するかページごとに印刷するかを選択します。

- ステープル/パンチ

  オプションのフィニッシャーが装着されているときに、ステープルやパンチを設定できます。自動用紙選択で印刷するときは、意図しない位置にステープルやパンチされることがあります。

- トナーセーブ

  通常よりも薄く印刷し、トナーを節約するかしないかを選択します。この設定を有効にすると、印刷品質が低下することがあります。

- 180 度回転

  用紙の向きに対して、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

補足

- ［印刷をともなうジョブの制限］または［エラージョブ蓄積・追い越し］で、自動的に蓄積された文書は、印刷詳細設定画面で設定を変更できません。［印刷をともなうジョブの制限］については、P.7「文書の放置を防止する」を参照してください。［エラージョブ蓄積・追い越し］については、P.9「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

保存文書にアクセス権を設定する

プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

ログイン方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. メニューエリアの［文書操作］から［プリンター文書印刷］をクリックします。

3. アクセス権を変更する保存文書の［詳細情報］アイコンをクリックします。

4.「アクセス権」の［変更］をクリックします。

パスワードの確認画面が表示されたときは、パスワードを入力します。

5. ユーザーのアクセス権を選択します。

アクセス権は、［閲覧］、［編集］、［編集/削除］、［フルコントロール］のいずれかを選択します。

全ユーザーに設定するときは、「公開」にある「すべてのユーザー」のなかからアクセス権を選択します。

6.［OK］をクリックします。

7.［ログアウト］をクリックします。

8. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 選択できるアクセス権については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

5

ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

ドキュメントボックスを利用するとパソコンで作成した原稿を本機のハードディスクに蓄積し、本機の操作だけで必要なときに必要な条件（両面印刷、ステープルなど）で印刷ができます。

重要

- ドキュメントボックスにデータを送っているときは、途中でキャンセルしないでください。正しくキャンセルされないことがあります。誤ってキャンセルしたときは、送信したデータを本機の操作部で消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法については、『コピー/ドキュメントボックス』「ドキュメントボックスを使う」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 3,000 件までです。蓄積文書が 3,000 件に達すると新しい文書が蓄積されなくなります。ただし、蓄積文書数が 3,000 件に達しないときでも、以下の条件のとき、新しい文書は蓄積されません。
    - 1 文書の総ページ数が 3,000 ページを超えるとき
    - 送信した印刷データと本機に蓄積されている文書との合計が 10,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
    - ハードディスクの容量がなくなったとき

パソコンで作成したデータをドキュメントボックスに送ります。ユーザー ID などの設定は、使用する OS やプリンタードライバーによって異なります。

以下のプリンタードライバーを使用できます。

Windows

- RPCS（標準）
- PostScript 3（オプション）

Mac OS X

- PostScript 3（オプション）

補足

- 不要になった文書はできるだけ消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法については、『コピー/ドキュメントボックス』「ドキュメントボックスを使う」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- Mac OS X での設定については、『PostScript 3』「ドキュメントボックス」を参照してください。

ドキュメントボックスに文書を蓄積する

アプリケーションから蓄積する方法について説明します。ここでは、Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例にします。手順で説明している画面の表示は、アプリケーションによって異なることがあります。

重要

- ドキュメントボックス以外の機能でハードディスクを使用しているときは、規定の文書数に達する前に蓄積できなくなることがあります。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから [ドキュメントボックス] を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 必要に応じてユーザー ID、ファイル名、パスワード、ユーザー名を入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK] をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- ドキュメントボックスに蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、『コピー/ドキュメントボックス』「ドキュメントボックスを使う」を参照してください。

ドキュメントボックスに蓄積された文書の管理

本機を TCP/IP を使用してネットワークプリンターとして使用するとき、Ridoc Desk Navigator、または Web Image Monitor を使用して、ネットワーク上のパソコンから本機のドキュメントボックスに蓄積されている文書を確認したり、消去したりできます。本機から離れた場所で印刷しているとき、本機の操作部で確認しなくても遠隔操作で確認できます。

補足

- Ridoc Desk Navigator の操作方法については、Ridoc Desk Navigator のヘルプを参照してください。

- Web Image Monitor の操作方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」、または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

6. 外部メディアを接続して印刷する

本機に接続した外部メディアから直接印刷する機能について説明します。

メディアスロットから直接印刷する(メディアプリント)

外部メディア（USB メモリーまたは SD カード）を本機に接続して、外部メディアの文書を直接印刷できます。

JPEG、TIFF、または PDF 形式の文書を印刷できます。

コンピューターを使用しないで、簡単に印刷できる便利な機能です。

補足

- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- PDF ダイレクト印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、[プリンター初期設定] から [システム設定] の [優先メモリー] を [ユーザーメモリー] に設定してください。[ユーザーメモリー] に設定してもジョブリセットされるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからプリンタードライバーを使用し、印刷してください。

メディアスロット使用時の注意

- 使用できる外部メディアは USB メモリーと SD カードです。ただし、すべての USB メモリーや SD カードで動作を保証するものではありません。推奨する外部メディアについてはリコーホームページをご覧ください。
- SD カードは 32GB 以下のものに対応しています。
- 使用する USB メモリーがパスワード設定などのセキュリティー機能を有効にしているときは、正しく動作しないことがあります。
- USB スロットには、USB メモリー以外の USB 機器を挿入しないでください。正しく動作しないことがあります。
- USB メモリーを取り付けるときは、延長ケーブルを使用しないで、メディアスロットに直接取り付けてください。
- 外付けの USB ハブやカードリーダーなどは使用できません。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間は、本体の電源を切ったり、外部メディアを抜いたりしないでください。外部メディア内のデータが破損することがあります。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間に、本体の電源が切れたり外部メディアが抜けたりしたときは、外部メディア内のデータを確認してください。

- 大切な文書やデータは、必ずコピーまたはバックアップしてください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が生じたりしたときに、文書やデータが消失することがあります。本機の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

印刷できるファイル形式

JPEG 形式

- Exif バージョン 1.0 以降の JPEG ファイルに対応しています。

TIFF 形式

- 以下の形式の TIFF ファイルに対応しています： 無圧縮の TIFF ファイル、または MH、MR、MMR 形式で圧縮された TIFF ファイル。

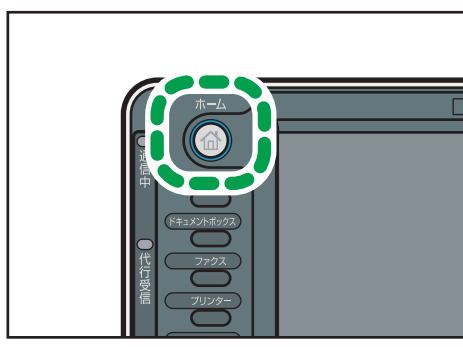
PDF 形式

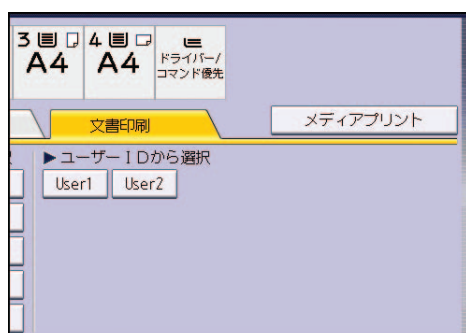
- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。
- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。

メディアプリント機能で印刷する

1. **外部メディアをメディアスロットに差し込みます。**

   外部メディアの取り付けかたについては、『本機のご利用にあたって』「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

2. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

CJR001

3. ［メディアプリント］を押します。

4. メディアの一覧から、印刷する文書が保存されている外部メディアを選択します。

一度に選択できる外部メディアはひとつだけです。

5. 印刷する文書を選択します。

同じフォルダーに保存されている同じファイル形式の文書は、複数同時に選択できます。

パスワードで保護された PDF を印刷するときは、［パスワード入力］を押し、パスワードを入力します。

6. 必要に応じて［印刷詳細設定］を押し、印刷の設定をします。

機能によっては同時に設定できないことがあります。

7. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。

8. ［印刷開始］または［スタート］キーを押して、印刷を開始します。

印刷中に次の文書を印刷すると、エラーメッセージが表示されます。

9. 印刷が終了したら、［メディア選択画面へ戻る］を押します。

10. 外部メディアを取り外します。

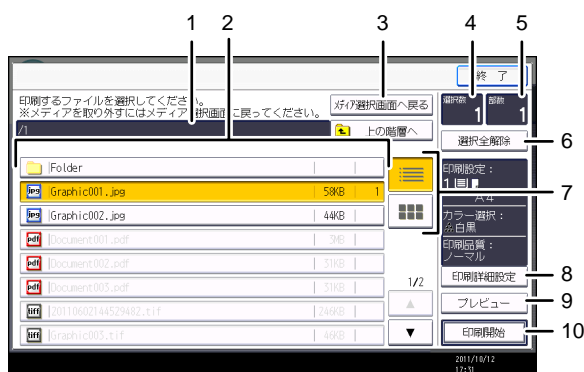
外部メディアの取り外しかたについては、『本機のご利用にあたって』「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

補足

- セキュリティーの設定によっては、[メディアプリント] が画面に表示されない場合があります。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 異なるファイル形式の文書は、同時に選択できません。
- フォルダーを移動したり、別の外部メディアを選択したりしたときは、ファイルの選択は解除されます。
- ファイルサイズが 1GB を超える文書は印刷できません。
- JPEG 形式の文書は、サイズの合計が 1GB 以内であれば、最大 999 の文書を同時に選択できます。
- JPEG 形式の文書を選択している場合、用紙サイズの自動選択はできません。
- 上記の手順で操作している間に別の外部メディアを挿入したときは、その外部メディアのルート階層にある文書やフォルダーの一覧が表示されます。
- 外部メディアを複数の領域（パーティション）に分割しているときは、先頭のパーティションのデータが読み込まれます。
- [メディアアクセス] ランプは、次のとおり点灯または点滅します。ランプが点滅している間は、外部メディアを取り外したり USB ケーブルを抜いたりしないでください。

外部メディアの種類	点灯または点滅のタイミング
USB メモリー	挿している間は常に点灯します。
SD カード	SD カードにアクセスしているときだけ点滅します。

メディアプリント画面

メディアプリントの画面を表示するには、操作部左上の [ホーム] キーを押して、ホーム画面上の [プリンター] アイコンを押し、プリンター画面の [メディアプリント] を押してください。外部メディアに保存されている文書は、リスト表示かサムネール表示で確認できます。

1. **現在のフォルダー**

   表示されているフォルダーの場所を表示します。上の階層のフォルダーに戻りたいときは、[上の階層へ］を押します。

2. **文書/フォルダー一覧**

   印刷する文書やフォルダーを選択します。必要に応じて、[▲ ］[▼ ］で画面をスクロールしてください。

   文書の形式、名前、サイズを表示します。複数の文書を選択しているときは、選択された順番も表示します。

   文書の数によって、最大 999 ページ分の画面をスクロールできます。

3. **［メディア選択画面へ戻る］**

   メディア選択画面に表示を切り替えます。

4. **選択数**

   選択した文書の数を表示します（1～999)。

5. **部数**

   数字キーを押して、印刷部数を指定します（1～999)。

6. **［選択全解除］**

   文書の選択をすべて解除します。

7. **リスト/サムネール**

   一覧画面をリスト表示とサムネール表示で切り替えます。

8. **［印刷詳細設定］**

   印刷の詳細設定をします。

9. **［プレビュー］**

   選択した文書の 1 ページ目の印刷イメージを表示します。イメージ画像の拡大・縮小表示や表示位置の移動ができます。

10. **［印刷開始］**

    選択した文書を印刷します。

補足

- 本機は、合計 5990 までの外部メディア内のファイルやフォルダーを認識できます。
- 外部メディア内のファイル名には、パスも含めて、255 バイトまで使用できます。本機が正しく表示できない文字は、ファイル名に使用できません。
- Exif 規格および DCF 規格準拠の JPEG 形式のファイルはサムネールを表示できます。その他のファイルはアイコンが表示されます。
- 以下のサイズの JPEG 形式のファイルが印刷できます：
    - 定形サイズ： 郵便はがき、Letter ($8^1/_2$×11")、11"×17"、A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6
    - 不定形サイズ：2L (5"×7")、100 mm×150 mm、4"×6"、8"×10"
- 不定形サイズの PDF ファイルは印刷できないことがあります。
- 印刷設定は、ファイルの選択をすべて解除するまで保持されます。
- PDF 形式のファイルに PDF パスワードが設定されているときは、プリンター機能から別の機能に切り替えるまで保持されます。
- 正しく認識できていない外部メディアを選択したときは、エラーメッセージが表示されます。

7. プリンタードライバーを使用しないで印刷する

PDF ファイルの直接印刷や仮想プリンターなど、プリンタードライバーを使用しないで印刷する方法を説明します。

PDF ファイルを直接印刷する

PDF ファイルを直接印刷するには、個人文書管理ソフト Ridoc Desk Navigator から印刷する方法と、コマンドを使用して印刷する方法があります。

Ridoc Desk Navigator を使用する

PDF ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、個人文書管理ソフト Ridoc Desk Navigator に PDF ファイルを登録し、PDF ファイルを直接本機に送って印刷ができます。

Ridoc Desk Navigator はリコーのホームページからダウンロードできます。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「ダウンロードできるソフトウェア」を参照してください。

7

重要

- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。
- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。
- Ridoc Desk Navigator は、Windows 64bit 版では使用できません。

補足

- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- 印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、[プリンター初期設定] から [システム設定] の [優先メモリー] を [ユーザーメモリー] に設定してください。[ユーザーメモリー] に設定してもジョブリセットされるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからドライバーを使用し印刷してください。
- 不定形サイズの用紙に印刷するときは、用紙サイズエラーが発生することがあります。

Ridoc Desk Navigator の拡張機能

PDF ファイルを直接印刷するには、Ridoc Desk Navigator の機能拡張を使用して、直接印刷の機能を追加します。

1. **Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、［RICOH Ridoc Desk Navigator］、［機能拡張ウィザード］をクリックします。**

2. **［簡単設定］を選んで［設定の開始］をクリックし、［印刷機能の設定 2］画面が表示されるまで［次へ］をクリックします。**

3. **［印刷機能の設定 2］画面で、［追加...］をクリックします。**

手順 2 で［全機能設定］を選んだときは、「分類:」のカテゴリーから［出力］を選択します。「選択できる機能」欄から［PDF ダイレクトプリント］を選択し、［追加］をクリックします。

4. **［直接指定...］をクリックし、本機の IP アドレスまたはホスト名を入力します。**

5. **［OK］をクリックします。**

6. **その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。**

7. **［OK］をクリックします。**

8. **［完了］が表示されるまで［次へ］をクリックします。**

9. **［完了］をクリックします。**

Ridoc Function パレット

Ridoc Function パレットとは、Ridoc Desk Navigator の機能拡張で設定した機能をボタン化したものです。Ridoc Desk Navigator を起動することなく、Windows ファイルの印刷、印刷プレビュー、画像変換、文書のスキャナー登録などができます。また、これらの機能はパレットのボタンに対象ファイルをドラッグ＆ドロップするだけで使用できます。

機能拡張を設定したときは、Ridoc Function パレットに自動でボタンが表示されます。もし、設定した機能のボタンが表示されないときや、ボタンを非表示にするときは、以下の設定をします。

1. Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、[RICOH Ridoc Desk Navigator]、［Ridoc Function パレット］をクリックします。
2. タスクトレイに表示されたアイコン（）を右クリックし、［プロパティ...］をクリックします。
3. ［構成］タブをクリックし、ボタン表示させる機能にはチェックボックスにマークを付け、ボタン表示させない機能にはチェックボックスのマークを外します。

4. ［OK］をクリックします。

Ridoc Function パレットで PDF ファイルを印刷する

Ridoc Function パレットを使用すると、ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを本機に直接送信して印刷できます。

1. 印刷する PDF ファイルを Ridoc Function パレットの PDF ダイレクトプリントアイコンにドラッグ＆ドロップします。
2. ［OK］をクリックします。

コマンドを使用する

ftp、sftp、lpr などのコマンドを使用して、ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを直接印刷できます。

- Windows OS でコマンドを使用して直接印刷をする方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。
- UNIX コマンドでの直接印刷をする方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「オプション指定」を参照してください。

コマンドで PDF ファイルを印刷する

PDF ファイルを送信する方法について説明します。ここでは、lpr コマンドを例に説明します。

lpr コマンドでは、本機の IP アドレスのほか、PDF ファイル名を指定します。書式は次のとおりです。

C:¥>lpr -S 本機の **IP** アドレス（またはホスト名）**[-o l]** **¥**パス**¥**ファイル名

コマンドでパスワード付き PDF ファイルを印刷する

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷する方法について説明します。

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷するには、操作部または Web Image Monitor のいずれかでパスワードを指定します。

操作部を使用する

操作部を使用して PDF パスワードを設定するには、プリンター初期設定の［PDF 設定］で［PDF パスワード変更］を設定します。詳細は、P.132「PDF 設定」を参照してください。

Web Image Monitor を使用する

Web Image Monitor を使用して PDF パスワードを設定するには、［設定］の［PDF 一時パスワード］を設定します。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

仮想プリンターを使用する

仮想プリンターとは、ネットワーク環境だけで認識できる擬似的なプリンターです。仮想プリンターでは、印刷に関するさまざまなオプション（給紙トレイの指定や両面印刷の有無など）を設定できます。また、割り込み印刷を設定できます。割り込み印刷とは、印刷中や処理中のジョブを一時停止させて、別のジョブを先に印刷する機能です。

UNIX や Solaris などから印刷するときに仮想プリンターを指定すると、コマンドによる印刷オプションの指示ができないときでも、さまざまな印刷ができます。

仮想プリンターを追加する

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。**
4. **［追加］をクリックします。**
5. **「仮想プリンター名」に任意のプリンター名を入力し、「プロトコル」を選択します。**

   仮想プリンターで使用できるプロトコルは、［TCP/IP（指定なし・通常）］、［TCP/IP(指定なし・優先)］、［TCP/IP（RHPP）］、［TCP/IP（DIPRINT）］、［AppleTalk］、［NetWare］です。

   ［AppleTalk］は、マルチエミュレーションカード装着時に表示されます。

   「プロトコル」で［TCP/IP（DIPRINT）］、［AppleTalk］、または［NetWare］を指定したとき、仮想プリンターの名前を任意に設定できません。

6. **［OK］をクリックします。**
7. **［ログアウト］をクリックします。**
8. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- 追加できる仮想プリンターの数は 50 個までです。登録されている仮想プリンターが 51 個に達しているとき、［追加］ボタンは表示されません。

7

仮想プリンターを有効にする

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の［基本設定］をクリックします。**
4. **「仮想プリンター」の項目から［有効］を選択し、［OK］をクリックします。**
5. **［ログアウト］をクリックします。**
6. **Web Image Monitor を終了します。**

仮想プリンターを削除する

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。**
4. **削除する仮想プリンターを選択し、［削除］をクリックします。**
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- Default の仮想プリンターは削除できません。
- ［削除］ボタンは仮想プリンターを追加したときに表示されます。

仮想プリンターを設定する

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。**
4. **設定を変更する仮想プリンターを選択し、［変更］をクリックします。**

5. 各項目の設定内容を任意に変更し、[OK] をクリックします。

ここで設定した仮想プリンターを割り込み印刷用の仮想プリンターとして設定するときは、「プロトコル」で [TCP/IP(指定なし：優先)] を選択します。

6. [ログアウト] をクリックします。

7. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 設定内容の詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 使用するエミュレーションにより設定できる項目は異なります。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

仮想プリンターの設定を確認する

仮想プリンターで印刷するとき、仮想プリンター名の指定が必要です。仮想プリンター名や設定内容を確認する手順について説明します。

1. Web Image Monitor を起動します。

起動方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. メニューエリアの [機器の管理] から [設定] をクリックします。

3.「プリンター」カテゴリーの中の [仮想プリンター設定] をクリックします。

4. 確認する仮想プリンターを選択し、[詳細情報] をクリックします。

補足

- Web Image Monitor に管理者モードでログインしているとき、[詳細情報] は表示されません。[変更] で現在の設定内容を確認してください。
- 仮想プリンターが [無効] に設定されているときは、仮想プリンターの一覧が表示されません。仮想プリンターを [有効] に設定してください。仮想プリンターを [有効] に設定するには、管理者モードでログインしてください。詳細については、P.108「仮想プリンターを有効にする」を参照してください。

仮想プリンターで印刷する

仮想プリンターを使用して印刷するには、各コマンドのオプションに [仮想プリンター名] を指定します。割り込み印刷をするときは、割り込み印刷用に設定した仮想プリンターの名前を指定します。最初に印刷する前に、使用する仮想プリンターを指定してください。

コマンドを使用して印刷するときの例は以下のとおりです。

7

lpr のとき

c:¥> lpr -S 本機の IP アドレス（またはホスト名［-P 仮想プリンター名］　［-ol］¥パス名¥ファイル名

ftp のとき

ftp> put　¥パス名¥ファイル名　［仮想プリンター名］,

設定が無効になる項目

選択しているエミュレーションによっては、「システム設定」の設定項目が無効になります。詳細は以下のとおりです。

無効になる「システム設定」の設定項目	選択しているエミュレーション
180 度回転	RPCS
補助用紙サイズ	RTIFF
給紙トレイ	RPCS、RPDL、RTIFF、R55
用紙種類	RPCS、RTIFF
排紙トレイ	RPDL、R55

8. プリンター初期設定

本機で設定できる「プリンター初期設定」の各種項目について説明します。

テスト印刷

本機の使用環境や印刷に関する設定を変更したとき、またはプログラムを登録したときは、設定状況の一覧表を印刷して確認することをお勧めします。

印字できるすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

一括リスト印刷

システム設定リストとエラー履歴を印刷します。

システム設定リスト

プリンター初期設定の設定値を印刷します。

エラー履歴

印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、パネルからのジョブキャンセル情報も出力されます。

エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷のときは消去されずに蓄積エラー履歴として 30 件別に蓄積されます。

印刷条件リスト

印刷条件の設定値を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R55］、［RTIFF］を選択しているときに印刷できます。

登録フォームリスト

本機に登録されているフォームの一覧を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R55］を選択しているときに印刷できます。フォーム未登録のときは画面に約 2 秒間メッセージを表示するだけで、フォームリストは印刷されません。

全文字印刷

印刷できるすべての文字を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

フォントリスト

印刷できるすべてのフォントを印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

PCL 情報リスト

PCL の設定情報および PCL が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PCL］を選択しているときに印刷できます。

PS 情報リスト

PostScript の設定情報、および PostScript が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PS3］を選択しているときに印刷できます。

PDF 情報リスト

PDF の設定情報、および PDF が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PDF］を選択しているときに印刷できます。

ヘキサダンプ

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。

補足

- 給紙トレイの中から A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより小さいと、端が切れることがあります。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより大きいと、余白が大きくなることがあります。
- テスト印刷で出力されるシステム設定リスト、エラー履歴は、レイアウトが A4（および Letter）サイズに固定されます。したがって給紙トレイのいずれかに、A4（または Letter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。
- 印刷条件リスト、登録フォームリスト、全文字印刷、フォントリスト、PS 情報リストおよび PDF 情報リストは優先給紙トレイから出力されます。優先給紙トレイに A4 より大きいサイズの用紙があるときは、それぞれの用紙のサイズに合わせて拡大されて出力されます。

テスト印刷する

1.［初期設定/カウンター］キーを押します。

2.［プリンター初期設定］を押します。

3. ［テスト印刷タブ］から印刷する項目を押します。

［ヘキサダンプ］を選んだときは、ここでは何も印刷されません。

4. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

システム設定リストの見かた

システム設定リストの印刷例です。

1. システム構成情報

本機やシステムのバージョン、カウンター情報、メモリー容量、および取り付けた外部オプションの名称などの情報です。

2. 用紙設定

トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズは本機の操作部で設定した値です。

「不定形サイズ」と記載されているときは、フリーサイズに設定されています。

用紙サイズで「R」と記載されているときは、用紙方向がに設定されています。

3. 調整 / 管理

プリンター初期設定の［調整 / 管理］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

4. システム設定

プリンター初期設定の［システム設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

5. システム設定（EM）

プリンター初期設定の［システム設定（EM）］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

6. 登録プログラム一覧

登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

7. PCL 設定

プリンター初期設定の［PCL 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

8. PS 設定

プリンター初期設定の［PS 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

9. PDF 設定

プリンター初期設定の［PDF 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

10. インターフェース設定

システム初期設定またはプリンター初期設定の、インターフェース設定の項目と設定値です。

11. インターフェース情報

動作モードやプリンター名など、インターフェース設定の情報です。

12. 不正コピー抑止

プリンター初期設定の［不正コピー抑止］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

この項目は［不正コピー抑止設定］を［する］に設定しているときに表示されます。詳細についてはP.135「不正コピー抑止」を参照してください。

補足

- ［PCL 設定］、［PS 設定］の項目は、エミュレーションが追加されたときに表示されます。

調整 / 管理

メニュープロテクト

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。メニュープロテクトの設定によっては、管理者以外のユーザーが設定できる機能が制限されています。

メニュープロテクトについては、『セキュリティーガイド』を参照してください。

テスト印刷禁止

［する］に設定すると、テスト印刷を禁止します。

テスト印刷の禁止については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

一時置き文書全消去

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書をすべて消去します。

保存文書全消去

本機に蓄積されている保存文書をすべて消去します。

一時置き文書自動消去設定

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書を自動で消去するかしないかを設定します。

印刷指定時刻が有効な保留印刷文書は、自動で消去できません。

- する

  自動消去する時間を 1〜200 時間（1 時間単位）の範囲でテンキーで入力します。

  するを選択したときの工場出荷時の設定は、8 時間に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

保存文書自動消去設定

本機に蓄積されている保存文書を自動で消去するかしないかを設定します。

- する

  自動消去する時間を 1〜180 日（1 日単位）の範囲でテンキーで入力します。

  するを選択したときの工場出荷時の設定は、3 日に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：する

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

8

システム設定

エラーレポート印刷

印刷処理中に、文法エラー、メモリー不足などにより正常に印刷できなかったとき、エラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズや用紙種類の条件に合うトレイがないときの本機の動作を設定します。この機能の設定については、P.9「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。

- しない

  ジョブリセットするのか印刷を続けるのかを選択する画面が表示されます。ジョブリセットするときは［ジョブリセット］を押します。条件に合わなくても印刷するときは、給紙するトレイを選択し、［実行］を押します。

  選択したトレイに用紙がセットされていないときは、用紙が補充されるまで印刷しません。

- 即時、1 分、5 分、10 分、15 分

  設定した時間が経過すると、用紙がセットされているトレイを優先給紙トレイ→トレイ 1→トレイ 2→トレイ 3→トレイ 4 の順に探して強制印刷します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

  この設定は、エラーの発生したジョブから本機を解放するための機能です。サイズ、紙種の異なる用紙で代替するため、印刷結果は保証されません。

工場出荷時の設定：**しない**

エラージョブ蓄積・追い越し

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.75「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.89「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細については、P.9「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

- する

  本機がエラーを検知するページ数を 1〜999 ページの範囲で指定できます。

エラーを検知するページ数が 2 ページ以上のときは、1 ページ目の印刷速度が遅くなることがあります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部でデータを処理できないときのプリンターの動作を設定します。

- 印刷取消

  エラーが発生したページでジョブをキャンセルします。キャンセルされたページ以降は印刷されません。

- エラーシート印刷

  エラーが発生したページは、エラーが発生した箇所まで印刷されます。エラーが発生したページ以降は通常どおり印刷され、最後にエラーシートが印刷されます。ただしステープルおよび電子ソートの指示は解除されます。

工場出荷時の設定：**印刷取消**

エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

- 簡易表示
- すべて表示

工場出荷時の設定：**すべて表示**

ジョブ仕分け

ジョブ単位ごとに排紙位置を振り分けて交互に排紙するか選択します。複数のジョブを大量印刷したときに、自動的に仕分けることができます。フィニッシャーが装着されているときに有効な機能です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

180 度回転

用紙の向きに対して、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、使用するエミュレーションを決定します。R55、RTIFF、PS3、PDF が対象です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーション / プログラムで設定されているエミュレーションが対象です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

[エミュレーション検知] を [する] に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信したときは、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。[する] のときの各エミュレーションの動作については、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらないことがあります。

連続してデータを送信するとき、[エミュレーション検知] が機能しないことがあります。そのときはデータを送信する間隔をあけてください。

圧縮データの解凍印刷

圧縮データの解凍印刷をするかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

優先エミュレーション / プログラム

主電源スイッチを「On」にしたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS
- RPDL
- R55
- RTIFF
- PCL
- PCLXL
- PS3
- PDF
- BMLinkS
- プログラム 01～16

工場出荷時の設定：**RPCS**

[プログラム 01] ～ [プログラム 16] に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムは本機の操作部で設定

した印刷条件を登録したものです。プログラム登録は MS-DOS または UNIX で印刷するときに使用します。

優先メモリー

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択します。

- ユーザーメモリー

  外字やフォントなどのデータを登録するためにメモリーが優先的に使用されます。

- ページメモリー

  印刷の高速化のためにフレームメモリーとして使用されます。

工場出荷時の設定：**ページメモリー**

印刷枚数

PCL カード、またはマルチエミュレーションカードが装着されているときのメニュー項目です。印刷枚数を設定します。

プリンタードライバーで印刷部数を指定したときは、プリンタードライバーの設定が適用されます。

1～999（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**1 枚**

スムージング

文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

画像スプール

印刷指示されたデータをイメージとして HDD に蓄積するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

予約印刷明け渡し時間設定

プリンターのページ作成が間に合わず印刷待ちとなったとき、コピー機能やスキャナー機能など、ほかの機能にいったん印刷権を明け渡すまでの時間を設定します。

- 長
- 中
- 短
- 明け渡ししない

工場出荷時の設定：**短**

補助用紙サイズ

A4 と Letter（$8^1/_2$ × 11）の切り替えをするかしないかを設定します。

- 自動
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙印刷を使用するかどうかを設定します。レターヘッド紙印刷を使用すると、両面印刷のときに、奇数ページジョブの最終ページが両面印刷され、レターヘッド紙の表面に印刷されます。

- 使用しない

  レターヘッド紙印刷を使用しません。

- 使用する（自動判定）

  レターヘッド紙が 1 ページ目に指定されたときに、レターヘッド紙印刷を使用します。

- 使用する（常時）

  常にレターヘッド紙印刷を使用します。

工場出荷時の設定：**使用する（自動判定）**

両面印刷禁止に設定してあるトレイから給紙したとき、両面印刷は解除されます。

印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったとき、ソートの 2 部目以降はすべて両面印刷になります。2 部目以降も片面で印刷するときは、両面印刷を禁止しているトレイから給紙してください。

レターヘッド紙を使用するときは用紙のセット方向に注意が必要です。

トレイ設定選択

本機に印刷データを送信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかトレイごとに指定できます。装着しているトレイだけを表示します。この機能の設定については、P.5「優先する用紙設定を選択する」を参照してください。

- 手差しトレイ用紙確認画面

8

手差しトレイから給紙するときに、用紙のサイズ・種類・セット方向を操作部に表示するかしないかを設定します。[表示する]を選択すると、手差しトレイの印刷設定を確認してから印刷できます。

- 表示する
- 表示しない

工場出荷時の設定：**表示しない**

- 手差しトレイ
  - ドライバー/コマンド優先

    トレイを指定して印刷するとき、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。
  - 機器側設定優先

    本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

  工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**
- トレイ 1～4、大量給紙トレイ
  - ドライバー/コマンド優先
  - 機器側設定優先

  工場出荷時の設定：**機器側設定優先**

トレイ指定時動作切り替え

PCL カード、またはマルチエミュレーションカードが装着されているときのメニュー項目です。プリンタードライバーから給紙トレイを指定して用紙サイズ・用紙種類を指示したときに、指定した給紙トレイに指示した条件の用紙がなかった場合、自動用紙選択をするかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

拡張リミットレス給紙

自動用紙選択ではなく、給紙トレイ指定時でもリミットレス給紙をするように設定します。

- する

  [する]を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の「リミットレス給紙」の設定に関係なく、リミットレス給紙機能が有効になります。
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

8

主電源 Off 時の未処理文書

本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書を印刷するかしないかを設定します。

- 主電源 On で印刷する

  本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書がある場合は、自動ですべて印刷します。

- 主電源 On で印刷しない

  本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書がある場合は、印刷指定時刻が無効となり、［一時置き文書自動消去設定］の対象となります。

工場出荷時の設定：**主電源 On で印刷しない**

印刷をともなうジョブの制限

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の放置を防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.75「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

［自動蓄積］を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細については、P.7「文書の放置を防止する」を参照してください。

- しない
- 自動蓄積

  文書を印刷しないで本機に強制的に自動蓄積します。

- 印刷取消

  文書の印刷を強制的に取り消します。

工場出荷時の設定：**しない**

初期画面の切り替え

ホーム画面から［プリンター］を押したときに表示される画面を設定します。

- ジョブ一覧画面

  ジョブの一覧を表示します。

- 文書印刷画面

  本機に蓄積されている文書とユーザー ID の一覧を表示します。

工場出荷時の設定：**ジョブ一覧画面**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

システム設定（EM）

［システム設定（EM）］は、エミュレーションでRPDL、R55を選択しているときに表示されます。

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- スペース

  排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。それ以外のコードがあるときは排紙しません。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**しない**

自動排紙時間

一定時間、パソコンからデータが送信されてこないとき、プリンター内に残ったデータを強制的に印刷するかしないかを設定します。

たとえば、改ページコードがなく［強制排紙］を押さないと印刷できないようなデータが自動的に印刷されるように設定できます。自動的に印刷するときは、データが送信されてこない場合に印刷を開始するまでの時間を設定します。

たとえば［10秒］に設定すると、10秒間データが送信されてこないときに、強制的に印刷します。設定時間が経過すると自動的に排紙されるので、同一ページ内のデータであっても、設定時間を超えて送信されてきたデータは、次のページに印刷されます。

- 自動排紙しない
- 10秒、15秒、20秒、25秒、60秒、300秒

工場出荷時の設定：**自動排紙しない**

マクロキャッシュ

マクロキャッシュの値は、RPDLを選択しているときに有効になります。

フォームオーバーレイ印刷するためのフォームデータをキャッシュするために使用するメモリー容量を設定します。ここで設定した容量によって、キャッシュできるフォーム数が変わります。

- マクロなし
- マクロ2.1MB

8

- マクロ 4.3MB
- マクロ 8.4MB

工場出荷時の設定：**マクロなし**

印刷データを展開するためのメモリーが確保できなくなるような設定はできません。メモリーが十分でないとき、設定が無効になることがあります。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

PCL 設定

［PCL 設定］は、エミュレーションで PCL または PCLXL を選択しているときに表示されます。PCL カードが必要です。

用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

- 設定できる用紙サイズ

  A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、210×340mm、182×210mm、170×210mm、11×17、11×15、11×14、10×15、10×14、8$^{1}/_{2}$×14、8$^{1}/_{2}$×13、8$^{1}/_{2}$×11、8$^{1}/_{4}$×14、8$^{1}/_{4}$×13、8×13、8×10$^{1}/_{2}$、8×10、7$^{1}/_{4}$×10$^{1}/_{2}$、5$^{1}/_{2}$×8$^{1}/_{2}$、郵便ハガキ、8K、16K、不定形

工場出荷時の設定：A4

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

両面印刷

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：しない

印刷方向

用紙の印刷方向を設定します。

- タテ
- ヨコ

工場出荷時の設定：タテ

行数

1 ページあたりの行数を設定します。

行数は 5～128（1 行単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：64

フォントソース

使用するフォントが記録されている場所を設定します。

本機にフォントをダウンロードしているときだけ、[RAM]、[HDD] が選択できます。

- 内蔵メモリー
- RAM
- HDD

工場出荷時の設定：**内蔵メモリー**

フォント番号

使用するフォント番号を設定します。

- [フォントソース] で [内蔵メモリー] を選択しているとき

  フォント番号は 0〜63 の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**0**

- [フォントソース] で [RAM]、[HDD] のいずれかを選択しているとき

  フォント番号は、機器に設定されているフォントの数まで設定できます。

  工場出荷時の設定：**1**

ポイントサイズ

使用するフォントのポイントサイズを設定します。

ポイントサイズは 4.00〜999.75（0.25 ポイント単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**12.00**

フォントピッチ

使用するフォントのピッチを設定します。

フォントピッチは 0.44〜99.99（0.01 ピッチ単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**10.00**

シンボルセット

使用するシンボルセットを設定します。

- 設定できるシンボルセット

  Roman-8、Roman-9、ISO L1、ISO L2、ISO L5、ISO L6、ISO L9、PC-775、PC-8、PC-8、D/N PC-850、PC-852、PC-858、PC8-TK、PC-1004、Win L1、Win L2、Win L5、Win Baltic、Desktop、PS Text、MS Publ、Math-8、PS Math、Pifont、Legal、ISO 4、ISO 6、ISO 11、ISO 15、ISO 17、ISO 21、ISO 60、ISO 69、Win 3.0、MC Text、UCS-2、PC-864、Arabic-8、Win Arabic、PC-866、PC-866U、ISO Cyrillic、Win Cyrillic、PC-851、Greek-8、ISO Greek、PC-8 Greek、Win Greek、PC-862、Hebrew-7、Hebrew-8、ISO Hebrew

工場出荷時の設定：**PC-8**

クーリエフォント

クーリエフォントの種類を設定します。

- レギュラー
- ダーク

工場出荷時の設定：**レギュラー**

A4 サイズ最大幅印刷

A4 サイズの用紙に印刷するときに、用紙幅最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

LF 設定

CR（復帰）、LF（改行）、FF（改ページ）コードを受信したときの本機の動作を設定します。

- LF=CR+LF
- LF=LF

工場出荷時の設定：**LF=LF**

「LF=CR+LF」に設定したときは次の動作をします。

- CR

  そのまま（CR=CR）処理します。
- LF

  改行コードを変換（LF=CR+LF）して処理します。
- FF

  改ページコードを変換（FF=CR+FF）して処理します。

  [LF=LF］に設定したときは、CR=CR、LF=LF、FF=FF として処理します。

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：**600dpi**

白紙排紙

白紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

    白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

PS 設定

［PS 設定］は、エミュレーションで PS3 を選択しているときに表示されます。マルチエミュレーションカードが必要です。

ジョブタイムアウト

ジョブが中断したときに、現在のジョブを中止するまでの本機の待機時間を設定します（秒単位）。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるジョブタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるジョブタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

  ［機器側設定優先］を選択したときは、0～999 秒の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時は「0」に設定されています。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

ウェイトタイムアウト

本機がジョブ終了を検知できないときに、ジョブ受信を中止するまでの本機の待機時間を設定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるウェイトタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるウェイトタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

  ［機器側設定優先］を選択したときは、0～999 秒の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時は「300」に設定されています。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

両面印刷

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：しない

両面印刷ページ切り替えコマンド

PS コマンドで両面印刷するとき、setpagedevice コマンドのあとのページをどちらの面に印刷するかを指定します。

- 有効

  両面印刷を解除し、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の表面に印刷します。

- 無効

  両面印刷を解除しないで、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の裏面に印刷します。

工場出荷時の設定：**有効**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

データ形式

データ形式を設定します。

- バイナリーデータ
- TBCP

工場出荷時の設定：**バイナリーデータ**

この設定は、パラレル、AppleTalk 接続以外のときに有効です。

パラレル接続で、プリンタードライバーからバイナリーデータを送ると印刷ジョブがキャンセルされます。

イーサネット接続で以下の条件のときに、印刷ジョブがキャンセルされます。

- バイナリーデータを設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式が TBCP のとき
- TBCP を設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式がバイナリーデータのとき

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi

- 600dpi
- 1200dpi

工場出荷時の設定：600dpi

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向自動検知

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

8

PDF 設定

［PDF 設定］は、エミュレーションで PDF を選択しているときに表示されます。

PDF パスワード変更

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

PDF グループパスワード

この機能は本機では使用できません。

両面印刷

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。
- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

最終ページから印刷

最終ページから印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi
- 1200dpi

工場出荷時の設定：**600dpi**

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向自動検知

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

インターフェース設定

受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB
- 256KB

工場出荷時の設定：**128KB**

インターフェース切替時間

パラレルインターフェース、または USB2.0 インターフェースで、データの送信が終了してから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、ほかのインターフェースからデータの受信ができるようになります。

- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

工場出荷時の設定：**15 秒**

設定時間が短すぎると、データの送信中にタイムアウトすることがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、ほかのエミュレーションに切り替わったりします。

8

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

不正コピー抑止

[不正コピー抑止] は、エミュレーションで PCL、PCLXL または PS3 を選択しているときに表示されます。PCL カードまたはマルチエミュレーションカードが必要です。

不正コピー抑止設定

本体側で不正コピー抑止を設定するかどうかを指定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

優先する設定：ドライバー/コマンド/機器側

優先する不正コピー抑止の設定を指定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷します。

- ドライバー/コマンド優先(一部除く)

  地紋の種類、濃度を本体側の設定で印刷します。それ以外はプリンタードライバーやコマンドの設定で印刷します。

- 機器側設定優先

  プリンタードライバーの設定にかかわらず、本体側の設定で印刷します。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

不正コピー抑止の種類

使用する不正コピー抑止の種類を指定します。

- 不正コピーガード

  印刷した文書をオプションの不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機でコピー、スキャンまたはドキュメントボックスへの蓄積をすると、画像を抹消しグレー地にします。

- 不正コピー抑止地紋

  不正コピー抑止の文字列地紋や背景地紋を付けて印刷します。印刷した文書をコピー、スキャンまたはドキュメントボックスへの蓄積をすると、地紋効果で文字列が浮き出るため、容易な不正コピーを抑止できます。

工場出荷時の設定：**不正コピー抑止地紋**

地紋マスクパターン/濃度/効果

使用する背景地紋のパターン、濃度および効果を設定します。

- 地紋マスクパターン

  背景地紋を付けて印刷します。使用する地紋パターンを設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

なし、青海波（セイガイハ）、網目（アミメ）、格子 1（コウシ 1）、格子 2（コウシ 2）、七宝（シッポウ）、蜀江（ショッコウ）、松皮菱（マツカワビシ）、鱗（ウロコ）、檜垣（ヒガキ）、亀甲（キッコウ）

工場出荷時の設定：**なし**

- 地紋の濃度

  背景地紋の濃度を設定します。

  工場出荷時の設定：3

- 不正コピーガードの効果

  印刷時、コピー時の不正コピーガードの効果を設定します。

  - 文字列と背景
  - 背景のみ

  工場出荷時の設定：**文字列と背景**

- 不正コピー抑止地紋の効果

  印刷時、コピー時の不正コピー抑止地紋の効果を設定します。

  - 文字列と背景
  - 文字列地紋・背景地紋入れ替え
  - 背景のみ
  - 文字列のみ

  工場出荷時の設定：**文字列と背景**

抑止文字列設定

使用する文字列の行間、位置などを設定します。

- 文字列選択

  印刷した文書に埋め込まれる抑止文字列のパターンを設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

  複写禁止、コピー禁止、禁複写、NO COPY！、これはコピーです、複写無効、COPY につき無効です、極秘、社外秘、CONFIDENTIAL、マル秘、PC ログインユーザー名、ファイル名、日付と時刻、PC ログインユーザー名+ファイル名、PC ログインユーザー名+日時、ファイル名+日時、PC ログイン名+ファイル名+日時、任意文字列 1、任意文字列 2

  工場出荷時の設定：**複写禁止**

- 任意文字列の登録／変更

  任意の抑止文字列を登録します。登録した抑止文字列は［文字列選択］から選択できます。

- 文字列のフォント（PCL）

  PCL 用の抑止文字列で使用するフォントの種類を設定します。エミュレーションの［PCL］または［PCLXL］を選択したときに、設定できます。

工場出荷時の設定：Arial

- 文字列のフォント（PS）

  PostScript 3 用の抑止文字列で使用するフォントの種類を設定します。エミュレーションの［PS3］を選択したときに、設定できます。

  工場出荷時の設定：Arial

- ポイントサイズ

  抑止文字列のフォントの大きさを 50〜300 ポイントの範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**70 ポイント**

- 文字列の行間隔

  文字列の行間隔を 50〜300 ポイントの範囲でテンキーで入力します。［文字列を繰り返し印字］が［しない］以外に設定されているときに表示されます。

  工場出荷時の設定：**70 ポイント**

- 文字列の角度

  文字列の回転する角度を設定します。数字を大きくすると、文字列の中央を基点に反時計回りに回転します。角度は 0〜359 度の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**30 度**

- 文字列の位置

  文字列を挿入する位置を設定します。［文字列の角度］が 0 度に設定されているとき、［文字列を繰り返し印字］が［しない］に設定されている場合に表示されます。設定できる項目は以下のとおりです。

  左上、中央上、右上、中央、左下、中央下、右下

  工場出荷時の設定：**中央**

- 文字列を繰り返し印字

  ページの左上を基点に文字列を縦横に並べて繰り返し印刷します。

  - する
  - する：改行時 180 度回転
  - しない

  工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。
- 不正コピー抑止は、Web Image Monitor でも設定できます。Web Image Monitor での設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使う」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

8